

本章は、環境目標を実現していくために計画で定めた248項目の具体的取組みに関して平成18年度に実施した環境に関する施策をまとめたものです。

1. 住みたい、楽しく美しい、歩きたくなるまち・春日井

環境に配慮した都市基盤

1 健全な水循環

雨水の地下浸透を促進するため、歩道や公共用地の駐車場に透水性舗装整備を実施しました。

また、豪雨時において短時間の河川への流出を抑制することを目的に、雨水流出抑制対策事業として春日井小学校などに表面貯留整備等を実施するとともに、「春日井市開発行為等に関する指導要綱」に基づき、民有地の敷地・駐車場に雨水貯留を指導しました。

今後も健全な水循環を確保するために、歩道や公共用地の駐車場などへの透水性舗装や表面貯留整備を推進していきます。

(1) 雨水の地下浸透の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
1 道路・公共用地の透水性基盤整備の推進	駐車場における透水性舗装整備（公園）	公園内においては土面の確保や駐車場の透水性舗装を推進	公園の広場において、砂舗装、石灰岩ダスト舗装、雨水浸透ますの整備を実施	公園の広場において、砂舗装、石灰岩ダスト舗装、雨水浸透ますの整備を実施	公園の広場において砂舗装を実施
	駐車場における透水性舗装整備（公民館）	駐車場を透水性舗装で施工			松新公民館 97.4㎡
	駐車場における透水性舗装整備（コミュニティ住宅）	駐車場を透水性ブロック、通路を透水性舗装で施工		松新第1 コミュニティ 住宅駐車場 29㎡	柏井第4 コミュニティ 住宅駐車場 164㎡
	駐車場における透水性舗装整備（市営住宅）	市営住宅の駐車場を透水性ブロック、通路を透水性舗装で施工	実績なし	市営東野住宅第2期建替工事 (駐車場整備) 積透水性植生ブロック舗装300㎡、芝張舗装54.3㎡ (歩道) 透水性舗装194㎡	実績なし

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
1 道路・公共用地の透水性基盤整備の推進	歩道における透水性舗装整備(勝川駅前・勝川駅南口周辺土地区画整理事業区域内)	透水性舗装で施工	勝川駅前 316㎡(歩道) 192㎡(公園) 勝川駅南口 周辺 488㎡(歩道)	勝川駅前 1,052㎡ 勝川駅南口 周辺 208㎡(歩道)	勝川駅前 62㎡ 勝川駅南口 周辺 693㎡
	歩道における透水性舗装整備(区画整理事業地内)	透水性舗装で施工	区画整理事業地区内 1,935.00㎡ (大留上、神領、堀ノ内、篠木四ツ谷)	大留上他 1,382㎡	大留町他 4,055㎡
	歩道における透水性舗装整備(公共下水道整備区域内)	公共下水道舗装復旧工事の際、歩道を透水性舗装で施工	東野町 74.54㎡	東野町 他 785.88㎡	前並町他 1760㎡
	歩道における透水性舗装整備(市道)	透水性舗装で施工	高蔵寺町他 5,122㎡	二子町他 3,903㎡	高蔵寺町他 4,170㎡
2 民有地の敷地・駐車場の透水性基盤整備の促進	雨水貯留・浸透指導	開発指導要綱に係る物件について雨水流出抑制対策として雨水貯留・浸透を指導	77件	82件	94件
	家庭雨水利用促進補助事業(浄化槽転用雨水貯留施設)	「具体的取組み131」と同様			
3 農地・草地・森林などの保全	春日井地域水田農業ビジョン	「具体的取組み74」と同様			

(2) 地下水脈の保全と活用の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
4 災害時にも配慮した浅井戸の保全・活用	「非常災害時井戸水提供の家」指定	指定及び新規の井戸を持つ世帯を対象に、大地震等の非常災害時に短期間井戸水を生活用水として使用するための簡易な水質検査を実施し、適合とされた世帯を「非常災害時井戸水提供の家」として指定する	検査時期: 10月 検査件数: 44件(更新:30件、再検査:11件、新規3件) 登録件数: 23件(適合件数23件、不適合件数21件) 総件数: 86件	検査件数: 37件 登録件数: 19件	検査件数: 59件 登録件数: 44件
5 「水みちマップ」の作成とこれに基づく地下水脈の保全(実績なし)					

(3) 雨水貯留機能の保全・創出

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
6 雨水貯留機能を有する水田・ため池などの保全(実績なし)					
7 雨水貯留施設の整備の促進	雨水流出抑制対策事業	雨水流出を抑制するため、表面貯留整備等を実施	春日井小学校他 1,257m ³	勝川小学校他 11,570m ³	烏居松小学校他 6,143m ³
	駐車場舗装整備工事	駐車場を雨水貯留施設として施工	実績なし	市営東野住宅第2期建替工事(駐車場整備)で通路部分 192.7m ²	実績なし
	調整池整備事業	雨水流出抑制のため調整池整備を実施	実績なし	タウン牛山調整池 1,639m ³ 、 上条6丁目調整池 650m ³ 、 高座林調整池 601m ³	実績なし

2 自動車による環境負荷の低減

自動車道路に面する地域の騒音に係る環境基準達成状況調査を13区間、総延長34.6kmで、また要請限度の超過状況調査を市内主要道路5箇所を実施しました。結果、環境基準適合率は昼間90.6%、夜間89.5%であり、要請限度については5箇所とも限度を下回りました。

また、市内の大気汚染状況を把握するため、大気汚染測定局で二酸化硫黄など大気汚染物質の常時監視を実施しました。光化学オキシダントは、全国的に環境基準の達成状況が悪く本市も同様に不適合でしたが、注意報などの発令はありませんでした。

今後も沿道における騒音や大気汚染測定を継続的に実施していくとともに、ECO通勤事業や低公害車導入補助事業など自動車による環境負荷の低減につながる取組みを実施していきます。

(4) 沿道の整備と道路交通混雑への対策

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
8 沿道における大気汚染、騒音・振動対策の充実	街路樹維持管理	市内の街路、緑地、緑道の樹木等の維持管理	市内の街路 189路線、 5緑地、2緑道	市内の街路 186路線、 5緑地、2緑道	市内の街路 186路線、 5緑地、2緑道
	自動車運転者及び事業者への啓発活動	法定速度の遵守(無謀運転の防止等)について、交通安全運動の中でキャンペーン活動等を実施するとともに事業者に対し協力依頼文書を送付している。 また、交通規制についても関係機関へ要望している。	レディヤン 春日井(県道内津勝川線)前にて実施	レディヤン 春日井(県道内津勝川線)前にて実施	尾張中央 農協春日井中央支店前(春日井一宮線)にて実施
	自動車交通騒音、道路交通騒音調査	道路に面する地域の騒音に係る環境基準の達成状況及び自動車騒音の要請限度の超過状況調査	市内主要道路(13箇所)環境基準適合率：昼間91%、夜間90% 要請限度超過状況調査 市内主要道路(5箇所)、要請限度超過(0箇所)	市内主要道路(13箇所)環境基準適合率：昼間89%、夜間88% 要請限度超過状況調査 市内主要道路(5箇所)、要請限度超過(1箇所)	市内主要道路(13箇所)環境基準適合率：昼間85%、夜間82% 要請限度超過状況調査 市内主要道路(5箇所)、要請限度超過(1箇所)
	植栽工事	植樹帯の設置	勝川駅前 103m 勝川駅南口 周辺 23m	勝川駅南口 周辺 111.9m	勝川駅前 36.5m 勝川駅南口 周辺 実績なし

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
8 沿道における大気汚染、騒音・振動対策の充実	大気汚染調査	市内2箇所(春日井市役所、下津保育園)において、大気中の大気汚染物質の濃度を測定し、市内の大気汚染状況を把握	環境基準適合項目:二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、一酸化炭素 環境基準不適合項目:光化学オキシダント	環境基準適合項目:二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、一酸化炭素 環境基準不適合項目:光化学オキシダント	環境基準適合項目:二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、一酸化炭素 環境基準不適合項目:光化学オキシダント
9 高度道路交通システム(ITS)の導入の検討(実績なし)					

(5)公共交通機関の利用の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
10 鉄道・バスの利用の促進	かすがいシティバス事業	かすがいシティバス(はあとふるライナー)の7路線を運行(平成14年11月30日から運行開始)している。	病院循環線: 206,736人、 施設連絡線: 36,596人、 地域連絡線: 33,889人 施設連絡線2台のうち1台を小型ノンステップバスに更新	病院循環線: 235,380人、 施設連絡線: 36,779人、 地域連絡線: 31,808人 施設連絡線2台のうち1台を小型ノンステップバスに更新	病院循環線: 216,025人、 施設連絡線: 34,136人、 地域連絡線: 30,262人
	愛知環状鉄道沿線4市等による愛環ECO通勤推進事業	ECO通勤(通勤手段を自動車から公共交通機関等へ変更する等)を支援する取り組みを進める。	ECO通勤に参加した5事業所に参加認定証を交付	ECO通勤参加事業所1事業所	
11 ECO通勤を支援する取組みの検討	愛知環状鉄道沿線4市等による愛環ECO通勤推進事業	「具体的取組み10」と同様			
12 交通需要マネジメント(TDM)、カーシェアリングなどの交通社会実験の調査・研究(実績なし)					
13 鉄道駅周辺駐車場などの確保の促進	駐輪場整備事業	「具体的取組み52」と同様			

(6) 環境に配慮した自動車利用の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
14 市民・事業者への 低公害車(エコカ ー)の普及の促進	最新規制適合車 等早期代替促進 費補助	自動車から排出され る窒素酸化物(NO _x) 及び粒子状物質(P M)などの大気汚染 の削減を目的に、中 小企業等の事業者に よる旧年式ディーゼ ル自動車等の排出基 準適合車への早期代 替を行う事業に要す る経費の一部を補助		補助台数 1台、 補助金額 173千円	補助台数 9台、 補助金額 5,076千円
	低公害車導入促 進費補助事業	自動車から排出され る窒素酸化物(NO _x) 及び粒子状物質(P M)などの大気汚染 物質や二酸化炭素 (CO ₂)の排出が少な い低公害車の導入を 行う事業者を経費の 一部を補助	補助台数 2台、 補助金額 1,000千円		
15 「低公害車導入計 画」に基づく公用車 への計画的な導入	低公害車導入計 画	「低公害車導入計画」 に基づく公用車の購 入	市が保有する 公用車におけ る低公害車の 導入割合 36%	市が保有する 公用車におけ る低公害車の 導入割合 25%	市が保有する 公用車におけ る低公害車の 導入割合 15%
16 エコ燃料(仮称)の 有効利用	天ぷら油収集	市内18公共施設にお いて天ぷら油(精製 し、軽油の代替燃料 となる。)を回収	回収量 約8,000	回収量 約7,200	回収量 約8,800
17 グリーン配送など自 動車の効率的利用 の促進	グリーン調達計画	「具体的取組み187」と同様			
18 違法駐車対策など の交通渋滞解消策 の検討	関係機関等と連 携した路上駐車 対策(啓発)	各季の交通安全運動 の中で、めいわく駐車 追放キャンペーンと 題し、チラシの挟み込 み活動を実施してい る。 年間を通じ啓発看板 を設置するとともに関 係機関に対し取締り を要望している。	ニュータウン 地区他にて実 施	小野小学校 区他にて実施	高座小学校 区他にて実施

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
19 エコドライブの普及 の促進	エコワールド	エコドライブなど通し て、地球温暖化対策 などの環境啓発を図 る	「エコワールド ～ストップ地 球温暖化～」 春日井まつり 参加者 4,500人 内容 クイズラリー 電動アシスト 自転車 PR など	「エコワールド ～ストップ地 球温暖化～」 春日井まつり 参加者 1,500人 内容 クイズラリー 低公害車 PR など	エコドライブ実 践セミナー 「エコドライブ を考えよう」春 日井まつり 参加者 1,300人 内容 エコクイズ大 会 エコ啓発パネ ル展示 など

3 環境に配慮した土地利用

農地や森林の保全に取り組むため、緑化の推進を目的に、工場や事業所等と緑化協定を締結するとともに、採石場へ立ち入り調査を実施し、植生回復を指導しました。

今後も市内の緑化保全を目的とした取組みを推進していきます。

(7) 農地・森林の保全

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
20 市街地拡大の計画的抑制策の検討	都市計画法	都市計画法	市街化調整区域 開発許可 14件	市街化調整区域 開発許可 19件	市街化調整区域 開発許可 26件
21 農地・森林の環境保全機能を評価した計画的保全策の検討	市民農園整備事業	「具体的取組み147」と同様			
	特別緑地保全地区の都市計画決定	高座町字高蔵林の一部約9.7haの緑地保全地区決定	実績なし	実績なし	都市計画決定の手続き (案の縦覧・都市計画審議会・告示)
22 市街化調整区域における開発抑制手法の検討(実績なし)					
23 開発跡地・採石場跡地などにおける植生回復の指導	採石場の立入調査	市内6ヶ所の採石場への立入調査を実施し、植生回復を指導	平成19年 1月	平成18年 2月	平成16年 11月

(8) 土地利用の規制強化と合意形成の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
24 地区計画・緑化協定などの推進	地区計画	1.地区計画届出書の審査 2.新規地区の都市計画決定の手続き	1.高座台地区 始め8地区 平成18年度 届出実績 7地区 90件	1.高座台地区 始め7地区 平成17年度 届出実績 5地区 90件 2.牛山町石塚地区計画の都市計画決定の手続き (説明会・縦覧・都市計画審議会・告示)	1.高座台地区 始め7地区 平成16年度 届出実績 5地区 90件 2.坂下町5丁目地区計画の都市計画決定の手続き (説明会・縦覧・都市計画審議会・告示)

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
24 地区計画・緑化協定などの推進	緑化協定	条例に基づき、開発行為等において一定の規模以上のものは、緑化計画書の提出を求め緑化協定を締結	工場等・事業所等と11件の緑化協定を締結	工場等・事業所等と14件の緑化協定締結	工場等・事業所等と13件の緑化協定を締結
25 環境配慮型の土地 区画整理事業・再 開発の促進	勝川駅前土地 区画整理事業・勝川 駅南口周辺土地 区画整理事業	事業施行に係る法的 要求事項及び環境配 慮指針を遵守	勝川駅前 進捗率 99% 勝川駅南口 周辺 進捗率 84%	勝川駅前 進捗率 91% 勝川駅南口 周辺 進捗率 82%	勝川駅前 進捗率 89.4% 勝川駅南口 周辺 進捗率 77.5%
	熊野桜佐土地 区画整理事業	環境アセスメントの実 施により環境に配慮 した計画	環境アセスメ ント評価書作 成	環境アセスメ ント評価書作 成	環境アセスメ ント準備書作 成
26 開発指導・開発抑 制の検討	春日井市開発事 業に係る紛争の 予防及び調整に 関する条例	1.中高層建築物の建 築 2.廃棄物処理施設の 設置 3.大規模開発行為	20件 1件 1件	18件 0件 0件	23件 0件 0件

(9) 環境に配慮した建築物の整備の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
27 公共施設・学校の 環境共生建築の導 入の推進	植栽事業	住宅地域にあった植 栽の実施	実績なし	市営東野住 宅第2期建替 工事 つつじ他 559本	実績なし
28 環境共生住宅の普 及の促進	住宅用太陽光発 電システム設置整 備事業		「具体的取組み141」と同様		
	住宅用太陽熱高 度利用システム設 置補助		「具体的取組み141」と同様		
	住宅用高効率エ ネルギーシステム 設置整備事業		「具体的取組み139」と同様		
29 環境配慮型商業施設の指針の作成(実績なし)					
30 環境配慮型住宅の指針の作成(実績なし)					
31 環境配慮型工場の指針の作成(実績なし)					

(10) ヒートアイランド現象などの緩和対策の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
32 「熱環境マップ」の作成によるヒートアイランド現象の調査(実績なし)					
33 「風の道」の調査とこれに基づく土地利用規制の検討	住宅市街地総合整備事業(旧 密集住宅市街地整備促進事業)	都市内に風を流入させる空間を確保し、それに基づく土地利用における規制についての検討			松新町 690m
34 人工排熱の抑制・都市緑化などによる対策の促進	春日井市ごみ処理施設整備事業	「具体的取組み138」と同様			

アメニティ空間

4 緑豊かなまち

民有地の緑化推進のため、「緑化の推進に関する指導要綱」に基づく緑化指導や、保存樹、保存生垣、保存樹林の現地調査を実施しました。

公共用地における緑化推進を目的に中箴公園等に植栽工事を実施しました。また、緑化意識の高揚を図るため、講習会や展示会、みどりの相談員による植物などに関する相談の受付を実施しました。

他にも、緑と花のまちづくりの推進を図るため、「花のまちづくりコンクール」や「市民植樹祭」や、河川の遊歩道など親水空間整備として生地川の整備を実施しました。

今後も緑化推進のための取組みや、市民の憩いの場である公園については、市民参加による公園づくりを推進していきます。

(11) 緑化の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
35 民有地の緑化の推進	緑化指導	開発行為等において一定の規模以上のもものは、樹木の植栽を指導	指導件数 65件	指導件数 67件	指導件数 79件
36 保存樹・保存樹林の保全	保存樹等指定	保存樹・保存生垣・保存樹林の現地調査	保存樹：691本、保存生垣：34件（1,841.0m）、保存樹林：5箇所（46,955㎡） 12月に現地調査を実施	保存樹：699本、保存生垣：37件（2,013.5m）、保存樹林：5箇所（46,955㎡） 12月に現地調査を実施	保存樹 723本、保存生垣 38件（2,106.5m）、保存樹林5箇所（46,955㎡） 平成16年12月に現地調査を実施
37 緑道・街路樹など公共用地における緑化の推進	緑の環状線街路緑化	街路樹を歩道に植栽	高木 22本		
	公園・緑道整備	特色のある個性豊かな公園・緑道整備	実績なし	松河戸緑道 小野道風の歴史性を活かした緑道整備 84m	松河戸緑道 小野道風の歴史性を活かした緑道整備 110m 大池緑地 大池緑地の良好な自然環境を活かした堤防園路整備 0.77ha

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
37 緑道・街路樹など 公共用地における 緑化の推進	公園植栽整備	新たに設置した公園 に植栽工事を実施	中箆公園： 中木17本、 低木565株 糸田公園： 中木16本 (緑の募金含 む)、 低木113株 郷裏公園： 中木6本、 低木50株	段下公園： 高木3本、 中木13本、 低木707株 市道公園： 高木2本、 中木13本、 低木501株	神領公園： 高木7本、 中木3本 低木588株
38 壁面・屋上など人工面の緑化の促進(実績なし)					
39 緑化相談・講習会 などによる緑化意 識の高揚	講習会・展示会	5種類の年間継続講 習会 その他1回講習会・展 示会を実施	講習会 106回、 展示会 43回	講習会 110回、 展示会 43回	講習会 106回、 展示会 43回
	緑の相談員による 病害虫、植物など に対する相談等	緑の相談員が病害 虫・土壌障害の対 策、植物などに対す る相談等	相談件数 1,387件、出 前件数61件	相談件数 1,262件、出 前件数43件	相談件数 1,336件、出前 件数47件
40 緑と花のまちづくり の推進	緑化推進協議会	花のまちづくりコンク ール、市民植樹祭 緑化に対する市民意 識の高揚を図り、市 民と行政が一体とな って、緑と花のうるお いのあるまちづくりを 目指し、いつまでも心 に残る美しいまちづく りの推進を図る	花のまちづくり コンクール 市民植樹祭 春：団体の部 141団体 個人の部 28件 秋：団体の部 139団体 個人の部 27件 平成18年12 月24日 樋田 公園で実施 参加者：200人 植栽：317本	花のまちづくり コンクール 春：団体の部 145団体 個人の部 34件 秋：団体の部 134団体 個人の部 25件 市民植樹祭 平成18年3月 19日 市道公園で 実施 参加者：200人 植栽：122本	花のまちづくり コンクール 春：団体の部 147団体 個人の部 34件 秋：団体の部 145団体 個人の部 38件 市民植樹祭 平成17年3月 13日 大池緑地で 実施 参加者150人 植栽 349本

(12) 公園・緑地・親水空間の整備

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
41 五感を通して楽しめる地域ごとに特色ある公園・緑地づくりの推進	公園植栽整備		「具体的取組み37」と同様		
42 公園などの整備・再整備計画への市民参加の推進	住民参加による公園整備	公園再整備を中心に、住民参加による公園のプランを実施	実績なし	平成17年9月意見交換会(慈恵公園)	平成16年7月意見交換会(樋田公園)
43 河川・ため池の親水空間の整備推進	生地川河川環境整備事業	草刈等面積8,600㎡及び保全監視委託(生地川近自然型河川環境整備:平成4年度～平成7年度に整備工事約1.2ha)	草刈等面積8,600㎡ 西山町他3町維持管理及び保全監視	草刈等面積8,600㎡ 西山町他3町維持管理及び保全監視	草刈等面積8,600㎡ 西山町他3町維持管理及び保全監視
	ため池堤防散歩路整備	ため池(下原大池)の堤防散策路整備	実績なし	実績なし	大池緑地の堤防散策路整備 442m
44 清潔で利用しやすい公衆トイレの整備	公園トイレ整備	公園整備及び再整備の中で公衆トイレを新設、改築	春見公園、中箴公園、糸田公園 公共下水道切替等による改築5箇所	慈恵公園、段下公園、市道公園 公共下水道切替等による改築 5箇所	樋田公園、神領公園、如意申公園、郷中公園 公共下水道切替等による改築 5箇所
45 未利用地の暫定的な広場としての活用	ちびっこ広場整備	地元の要望により、10年以上土地を無償賃借して、ちびっこ広場として整備を実施	実績なし	中野町まんなか広場造成工事	松戸戸東ちびっこ広場、県住神領じゃんけんちびっこ広場廃止

(13) 市民による公園などの維持管理の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
46 公園などの維持管理への市民参加	公園等の維持管理委託	公園等の草刈、遊具点検等を地元等に維持管理委託	387公園を地元等で管理	387公園を地元等で管理	391公園を地元等で管理
47 「公園等利用者懇談会(仮称)」の設立の検討	住民参加による公園整備		「具体的取組み42」と同様		

5 歩きやすく自転車で走りやすいまち

バリアフリー化の推進を図るため、JR 高蔵寺駅北口広場のエレベーター設置や、放置自転車の有効利用を図るため、撤去された自転車を市内8箇所に設置し、無料で貸し出しする「レンタサイクル事業」や、エコメッセ春日井において、放置自転車を修理・展示・販売を実施しました。

他にも、小学校や高齢者を対象に「自転車乗り方教室」や、各季の交通安全運動の中で「マナーアップ啓発活動」を実施しました。

今後も環境への負荷が少ない交通手段を選択しやすい取組みの促進や、利用しやすいまちづくりを推進していきます。

(14) 歩行空間の確保とネットワーク化

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
48 市街地における歩道の整備	歩道整備(区画整理事業区域内)	歩道整備	区画整理事業地区内 815.00m (大留上、神領、篠木四ツ谷)	大留上、神領、堀ノ内、篠木四ツ谷 600m	大留上、神領、堀ノ内、篠木四ツ谷 1,371m
	歩道整備(市道)	歩道整備	篠木町他2箇所 521m	上田楽町他5箇所 551.9m	高座台他2箇所 342.5m
	歩道整備(勝川駅前・勝川駅南口周辺土地区画整理事業地内)	歩道整備	勝川駅前 214m 勝川駅南口周辺 134m	勝川駅前 62m 勝川駅南口周辺 49m	勝川駅前 42m 勝川駅南口 217m
49 電線類地中化などによる歩行者空間の整備(実績なし)					
50 地域の資源を活かした楽しめるウォーキングルートの整備(実績なし)					

(15) 自転車で走りやすいまちづくりの推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
51 サイクリングロードなど自転車専用道路や自転車用走行帯の整備とネットワーク化(実績なし)					
52 鉄道駅周辺駐輪場の確保の促進	駐輪場整備事業	無料駐輪場を整備している。	JR 神領駅にバイク30台、JR 勝川駅高架下(西側)に自転車60台 名鉄味美駅に166台収容可能な無料駐輪場を整備	JR 勝川駅に自転車492台収容可能な無料駐輪場を整備	JR 勝川駅に自転車1,735台収容可能な無料駐輪場を整備
53 都市型レンタサイクルによる自転車の利用の促進	レンタサイクル事業	放置自転車を活用した自転車を市内8か所に計44台設置し無料で貸し出ししている。	利用率 35.3%	利用率 41.5%	利用率 40.0%

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
54 自転車利用マナーの向上と放置自転車の活用の推進	自転車乗り方教室	小学生及び高齢者を対象に正しい自転車の乗り方教室を実施している。	13小学校 高齢者 28回開催	22小学校 高齢者 21回開催	19小学校 高齢者 15回開催
	自転車利用におけるマナーアップ啓発活動	各季の交通安全運動の中で自転車の安全利用の啓発活動を市内の中学生・高校生を対象に実施している。	各季の交通安全運動期間中に春日井商業高校他にて実施	各季の交通安全運動期間中に春日井工業高校他にて実施	各季の交通安全運動期間中に高蔵寺中学校他にて実施
	鉄道駅周辺駐輪場における自転車整理	鉄道駅周辺の駐輪場において自転車の整理をするとともに、駐輪マナーのエフ付け(注意ふだ)により、注意をうながす。	市内鉄道10駅周辺で実施	市内鉄道10駅周辺で実施	市内鉄道10駅周辺で実施
	放置自転車のリサイクル	エコメッセ春日井の実施する自転車修理・展示・販売に対して、放置禁止区域において撤去した放置自転車を提供	自転車 60台	自転車 60台	自転車 60台
	レンタサイクル事業	「具体的取組み53」と同様			

(16) ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりの推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
55 歩道・鉄道駅などのバリアフリー化の推進	JR高蔵寺駅周辺交通バリアフリー基本構想	平成15年1月にJR高蔵寺駅周辺交通バリアフリー基本構想を作成し、平成22年までに公共交通事業者及び道路管理者等が整備	JR高蔵寺駅北口広場エレベーター 2基設置	JR高蔵寺駅南口広場 市道6635号線・市道6632号線 歩道整備(バリアフリー) JR高蔵寺駅、駅南駅前広場 市道149号線(駅南)	歩道整備(バリアフリー) 市道149号線(駅北) 市道6632号線(駅南)
	バス利用促進対策事業	高齢者・障がい者等、誰でも乗りやすいバス車両を導入する。	ノンステップバス車両3台に対し補助(補助額1,232千円)	ノンステップバス車両2台に対し補助(補助額1,040千円)	ノンステップバス車両5台に対し補助(補助額1,040千円)
	バリアフリーのまちづくりの推進	歩道段差解消の実施	藤山台他51箇所	追進町他37箇所	高蔵寺町他16箇所

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
56 サイン類などの充実による安心して歩けるまちづくりの推進	サイン整備	サイン計画に基づく公共施設等の案内サインの設置及び維持管理	ドライバー系 1基設置・1基整備に伴い撤去 歩行者系 4基整備に伴い撤去	ドライバー系 1基設置 歩行者系 10基修繕	実績なし

6 魅力的なまちかど・まちなみ

まちの景観に重要な要素である屋外広告物を適正かつ良好なものにし、都市景観を向上させるため愛知県屋外広告物条例に基づく規制及び指導を実施しました。

また、魅力ある都市景観を図るため都市景観アドバイザーによる大規模建築物等に対する助言・指導や、市内の優れた景観を巡る都市景観啓発事業を実施しました。

今後も、良好な都市景観形成に向けた取組みとして、違反広告物の簡易除去を市民ボランティアに委任して市民と行政が協働で、違反広告物の簡易除去を行う「春日井市違反広告物簡易除去活動員制度」などを実施していきます。

(17) 人が集まる場所の魅力向上

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
57 にぎわいのある鉄道駅周辺・商店街の整備	中心市街地活性化基本計画及びTMO構想の推進	勝川駅周辺まちづくり協議会(平成15年12月改組・改称)への指導及び助成	まちづくり協議会(総会及び役員会)の開催8回 部会27回	まちづくり協議会(総会及び役員会)の開催 12回 部会 17回	まちづくり協議会(総会及び役員会)の開催 11回 部会 30回
58 ポケットパーク・ベンチの整備によるまちかどのくつろぎ空間の創出	住宅市街地総合整備事業(旧 密集住宅市街地整備促進事業)	市街地の沿道のポケットパークの整備とベンチの設置			ポケットパーク1箇所

(18) 都市景観の向上

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
59 都市景観形成地区の指定と景観形成の誘導(実績なし)					
60 屋外広告物の規制・誘導	屋外広告物事務	まちの景観に重要な要素である屋外広告物を適正かつ良好なものとなるように規制及び誘導	新規許可 168件、 更新許可 146件	新規許可 154件、 更新許可 179件	新規許可 81件、 更新許可 126件
	春日井市違反広告物簡易除却活動員制度	平成17年度までは市が行ってきた簡易除却を、市民ボランティアに委任して、市民と行政が一体となって違反広告物の簡易除却を行う	登録団体数 9団体(96名)		
61 市民主体の景観づくりの推進	都市景観市民団体の認定	良好な都市景観づくりに取り組む団体に対し、活動の促進及び助成	実績なし	実績なし	助成金交付 1件

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
62 優れた景観の保全	都市景観形成建築物の指定	都市景観の形成上重要な価値のあるものを、都市景観形成建築物等として指定し保存のための候補物件を調査検討し指定	実績なし	都市景観形成建築物等3件指定	候補物件の調査検討
63 都市景観基本計画の推進	都市景観アドバイザー	都市景観基本計画に基づき、大規模建築物等に対し、魅力ある景観形成を図るために助言・指導	助言指導 31件	助言指導 37件	助言指導 45件

(19) 地域の資源を活かした魅力空間の創造

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
64 「地域まるごと博物館」の創造(実績なし)					
65 地域の宝物の発掘・共有	都市景観啓発事業	市内のすぐれた景観をバスでめぐる	春: 参加者21人 秋: 参加者45人	春: 参加者36人 秋: 参加者48人	春: 参加者28人 秋: 参加者26人

2 豊かな自然と人が共存し、歴史・文化を育むまち・春日井

自然との共存

7 丘陵・里の自然保全

自然環境の保全について必要な事項を定め、優れた自然環境及び身近で良好な自然環境を確保することを目的に、平成17年4月1日に「春日井市自然環境の保全を推進する条例」を施行しています。今後、条例に基づき市内の自然環境を保全していくため、「希少野生動植物種」や「自然環境保全地区・自然環境ふれあい地区」の指定に向け、調査を実施しました。

また、市民との協働による自然環境保全に関する活動として、高蔵林地区において里山活動視察・調査会や里山活動体験会を実施しました。

今後も、自然環境の保全や確保を推進するための取組みを実施していきます。

(20) 希少な自然の保護

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
66 原生的な森林・湿地などの保護	自然環境保全	築水池周辺の湿地の調査・保護、築水池周辺A湿地、B湿地の雑木の伐採及び下草刈りシデコブシの生息環境の整備、少年自然の家キャンプ場南周辺の雑木の除伐	平成19年 2月実施	平成18年 1月実施	平成17年 2月実施
67 希少な動植物と生息環境の保全	「春日井市自然環境の保全を推進する条例」の制定	自然環境の保全について必要な事項を定めることにより、自然環境の保全に関する施策を総合的に推進し、もって優れた自然環境及び市民が親しむことのできる身近で良好な自然環境を確保することを目的に制定	制定済	平成17年 4月1日 施行	平成16年 12月16日 制定
	希少野生動植物種の保護	「自然環境の保全を推進する条例」に基づき、指定希少野生動植物種の指定による保護	自然環境保全地区等候補地である3地区において確認された希少野生動植物について報告	指定希少野生動植物種候補について答申(環境審議会)	

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
67 希少な動植物と生息環境の保全	ギフチョウの住む里山づくり	「具体的取組み91」と同様			
	自然環境保全	「具体的取組み66」と同様			
68 生態系に配慮するための外来種対策の検討(実績なし)					
69 指定希少野生動植物種の指定	希少野生動植物種の保護	「具体的取組み67」と同様			
70 自然環境保全地区の指定	自然環境保全地区・自然環境ふれあい地区の指定	「自然環境の保全を推進する条例」に基づき、優れた自然環境である保全地区や身近な自然環境であるふれあい地区を指定する。	自然環境保全地区等候補地(内々神社区域・平和公園区域・隠山池区域)において、自然環境調査を行う。調査項目は、地質、植物性・植生、哺乳類、鳥類、両生類、は虫類、魚類、昆虫類の7項目。平成18年度における調査結果を報告書にまとめるとともに概要版としてパンフレットを作成	地区指定の候補地について答申(環境審議会)	平成16年12月16日、「春日井市自然環境の保全を推進する条例」を制定し、自然環境保全地区及びふれあい地区の指定について規定
71 自然環境ふれあい地区の指定	自然環境保全地区・自然環境ふれあい地区の指定	「具体的取組み70」に同じ			

(21) 森林の利用と活用

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
72 森林の状況に応じた管理計画の検討(実績なし)					
73 里山の維持管理体制と実施計画の検討	高蔵林地区緑化 保全事業	市民参加による里山の維持管理	里山活動 里山活動視察・調査会 参加者37名 里山活動体験会 参加者45名	自然環境調査及び地元観察会の実施 参加者: 200人	実績なし

(22) 農業を通して維持されてきた自然との共存

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
74 担い手の育成と環境に配慮した農業の振興による農地の保全	春日井市環境保全型農業推進	「具体的取組み148」と同様			
	春日井地域水田農業ビジョン	新たな営農体制の確立	産地づくり(水稲作付可能な水田に下記作物を推進する) (1) 景観形成作物 (2) 加工用米の作付 平成18年度 実績なし	実績なし	実績なし
75 多様な生物が生息できる田園環境の維持・保全	春日井市環境保全型農業推進	「具体的取組み148」と同様			

(23) 水源の保全

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
76 水源林としての森林の保全(実績なし)					
77 流域での地域間の連携	庄内川水系水質保全連絡協議会、庄内川中流域水環境改善対策協議会	「具体的取組み227」と同様			

8 自然豊かな市街地

自然豊かな市街地を形成するには、公園、緑道、街路樹帯の緑を維持する必要があります。今後も公園の植栽整備や緑化指導を実施し、緑化の保全・推進に努めていきます。

(24) まち(公共用地)に緑を増やす

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
78 まちのすみずみまで緑の拡大	公園植栽整備		「具体的取組み37」と同様		
79 多様な緑の創出	公園植栽整備		「具体的取組み37」と同様		

(25) 宅地・敷地に緑を増やす

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
80 宅地・敷地における緑の創出	緑化指導		「具体的取組み35」と同様		
81 工場・マンションなどの敷地内の緑を風土にあわせる取組みの検討	緑化協定		「具体的取組み24」と同様		
	緑化指導		「具体的取組み35」と同様		

9 池・川の保全

多様な生物が生息できる自然環境を保全するため、外来生物法の概要をホームページに掲載するなど、外来種の放逐等の規制について、啓発に努めました。

他にも、多様な生物が住め、楽しめる川の保全のため生地川河川環境整備事業を実施しました。

今後も親水空間として河川整備を実施するとともに、多様な生物が生息することができる自然環境の保全に努めていきます。

(26) 人・生物のための池の利用

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
82 ため池の保全	ため池堤防散歩路整備	「具体的取組み43」と同様			
83 魚類・水生昆虫類などが生息できるため池環境の保全	外来種の放逐等の規制	「自然環境の保全を推進する条例」の基 づき、外来種の放逐等の禁止を検討	・外来生物法掲載の市ホームページに、指定された三種類を追加 ・県から外来生物法に関するパンフレットを窓口にて配布	外来種の放逐等の規制について答申(環境審議会) 外来生物法の概要を市ホームページに掲載、周知文書を市関係機関や小中学校に配付	実績なし
84 水辺の自然を体験できるため池の整備	生地川河川環境整備事業	「具体的取組み43」と同様			

(27) 生物が住め、楽しめる川の保全

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
85 多自然型河川整備などによる生物の生息環境の保全	生地川河川環境整備事業	「具体的取組み43」と同様			
86 生物などを通して水辺に親しむことができる河川整備の推進	生地川河川環境整備事業	「具体的取組み43」と同様			

10 自然ネットワークの形成

市内の子どもたちが学校や地域の学習支援者などとともに一定期間継続的に身近な環境調査を実施し、調査活動の報告を「子ども環境シンポジウム」で発表しました。

また、自然環境の保全を推進する施策に関して意見交換会を実施しました。

今後も、自然環境に関する情報提供に努めていきます。

(28) 緑の回廊の計画、配置

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
87 「緑の回廊計画(仮称)」の策定(実績なし)					
88 拠点やモデル地区の創出	自然環境保全地区・自然環境ふれあい地区の指定		「具体的取組み70」と同様		

(29) 自然に関する情報の収集と自然の共存に向けた取組みの推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
89 自然環境情報の収集・蓄積	自然環境保全活動推進員連絡会議	自然環境の保全を推進する施策に関する意見交換会	4回実施		
	身近な環境調査	子どもたちが学校や地域の学習支援者などとともに調査活動を一定期間継続的に実施 調査活動の報告を「子ども環境シンポジウム」で発表	市内5小学校(味美、西尾、大手、東高森台、上条小学校)が参加	市内4小学校(味美、上条、神領、西尾小学校)と団体(たかくら子どもエコクラブ)が参加	市内4小学校(大手、神領、高座、東高森台小学校)が参加
90 自然との共存をめざす取組みの検討	自然環境保全地区・自然環境ふれあい地区の指定		「具体的取組み70」と同様		

自然と歴史の恵み

11 自然とのふれあい

自然環境の保全に関する知識の普及と保全活動の推進を担う「春日井市自然環境保全活動推進員」のステップアップ講座を開催しました。

また、自然環境の推進と機会の充実を図るため、自然に興味をもつ小学生とその保護者を対象とした自然環境学習会や、市民や学校参加型のギフチョウの住む里山づくりなどを行いました。

今後も市民が自然に親しみ、学習できる機会を充実していきます。

(30) 自然に親しみ、楽しみ、自然から学ぶ取組みの充実

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
91 自然に親しみ体験 できる場の整備・充 実	生地川河川環境 整備事業	「具体的取組み43」と同様			
	ギフチョウの住む 里山づくり	市民や学校参加型 で、「ギフチョウの食 草であるカンアオイの 生息域の整備」、「ギ フチョウの観察会」、 「産卵数調査」など、 ギフチョウのすむ里山 的環境の整備	一般市民にも 呼びかけ、「ギ フチョウの観 察会」、「産卵 数調査」、「カ ンアオイの生 息域の下草刈 り」を実施 同様の内容を 東高森台小 学校5年生に 指導 主体「ギフ チョウのすむ 里山づくりの 会」	一般市民にも 呼びかけ、「ギ フチョウの観 察会」、「産卵 数調査」、「カ ンアオイの生 息域の下草刈 り」を実施 同様の内容を 東高森台小 学校5年生に 指導 兵庫県加古 川のギフチョ ウ保護の先進 地の視察 主体「ギフ チョウのすむ 里山づくりの 会」	「ギフチョウの 観察会」、「産 卵数調査」、 「カンアオイの 生息域の下草 刈り」を実施 同様の内容を 東高森台小 学校5年生に 指導 「ギフチョウ のすむ里山づ くりの会」
	公園・緑道整備	「具体的取組み37」と同様			
92 自然学習の推進と 機会の充実	自然学習	地域の自然を生かし た自然教育の実践、 学校の野外活動や総 合学習に利用できる プログラムの提供、散 策路の整備	少年自然の家 13事業42回開 催のべ1,186 人参加(新・わく わく自然ランド、 里山学級など)	少年自然の家 13事業49回開 催のべ1,685 人参加(わくわく 自然ランド、里 山学級など)	少年自然の家 12事業49回開 催のべ1,976 人参加(わくわ く自然ランド、里 山学級など)

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
92 自然学習の推進と 機会の充実	自然環境学習会	自然に興味を持つ小学生とその保護者を対象に、少年自然の家とその周辺において自然環境学習会を実施	・「森へ行こう！川へ行こう！ガサガサ体験しよう！」と題し、自然の中での遊び方を学習 場所：少年自然の家 参加人数：50名 ・「春の野鳥観察会」を実施 場所：下原大池 参加人数：61名	「落ち葉くんはすごいぞ！」と題し、森のしくみについて学習 場所：少年自然の家 参加人数：30名 「命と自然のトークライブ」と自然観察会を実施 場所：少年自然の家 参加人数：約100名	みどり豊かな東部丘陵など多くの自然をよりよい形で残していくため、自然を知り、自然に対する理解を深めることを目的に環境学習会を開催 参加人数：20人
93 自然観察会の活用とガイド制の創出	「わくわく自然ランド」「自然観察講座」	主催事業の講師として自然観察指導員を招き、自然観察を通して環境保全、自然保護の意識を啓発	わくわく自然ランド 4回開催のべ159人参加 初夏のファミリーキャンプ(自然ガイドウオーク)71人 秋のファミリーキャンプ(自然ガイドウオーク) 68人参加 真冬のファミリーキャンプ(自然ガイドウオーク)41人参加 (自然観察指導をかすがい東部丘陵自然観察会に依頼)	わくわく自然ランド 7回開催のべ393人参加 秋のファミリーキャンプ(自然ガイドウオーク) 77人参加 森林観察ウォーキング 45人参加 (自然観察指導をかすがい東部丘陵自然観察会に依頼)	わくわく自然ランド 7回開催のべ541人参加 指導員の養成を図る講座の修了生により自然観察グループ(かすがい東部丘陵自然観察会)を立ち上げ、自然観察指導員の補助として経験を積みながら、スキルアップを図る
	みろくの森自然観察会	春日井自然の会により植物園内外(みろく山)周辺の植物の観察会を実施	植物園内外(みろく山)周辺 みろくの森自然観察会：5回	植物園内外(みろく山)周辺 みろくの森自然観察会：5回	植物園内外(みろく山)周辺 みろくの森自然観察会：5回
94 自然との共存をめざした情報の提供	「身近な自然ガイド」春日井市東部丘陵の作成	「身近な自然ガイド」春日井市東部丘陵を継続販売 ホームページ上で少年自然の家の事業募集と季節の自然の紹介を実施	「身近な自然ガイド」春日井市東部丘陵を販売	「身近な自然ガイド」春日井市東部丘陵を販売	「身近な自然ガイド」春日井市東部丘陵を販売
	東部丘陵マップ	東海自然歩道をはじめ、みろくの森、築水池、都市緑化植物園、少年自然の家など、美しい自然と多彩な施設の紹介	配布・紹介	配布・紹介	配布・紹介

(31) 身近な自然を育む意識啓発の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
95 市民などによる自然環境調査組織の設置の検討	自然環境保全活動推進員の設置	平成17年4月より施行した「春日井市自然環境の保全を推進する条例」の規定に基づき、自然環境保全活動推進員制度を設けるため、推進員を市民から公募し養成講座を実施	・自然環境保全活動推進員連絡会議 開催回数：4回 ・ステップアップ講座 開催回数：2回 「雑木林の学習会」 場所：みるくの森 参加人数：24名（推進員） 「昆虫の多様性と自然環境保全」 講師：間野隆裕氏（豊田市矢作川研究所） 参加人数：26名（推進員） ・自然環境調査	自然環境保全活動推進員養成講座開催 開催回数：7回 修了した受講者31名を推進員に委嘱	
96 地域ごとの身近な自然を育む仕組みづくり	自然環境保全活動推進員の設置	「具体的取組み95」と同様			

12 歴史・文化の継承

歴史的建造物や仏閣など指定文化財については、歴史的な価値を守るため、維持保存や伝承を目的とした助成を実施しました。

また、市内にある文化財、民具、市内に生息する昆虫や植物などをデジタルデータとして情報提供する「かすがいデジタル博物館」にデータの追加を行いました。

今後も、地域の文化を守る活動の支援や伝統芸能などの継承に努めていきます。

(32) 文化財・文化資源の保護

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
97 保存樹などの保全	保存樹等指定	「具体的取組み36」と同様			
98 神社・仏閣の保護	文化財の保護	指定文化財の維持保存のため、史跡等環境整備や火災報知機整備の助成	内々神社庭園、密蔵院多宝塔ほか史跡等環境整備4件、火災報知機整備6件	内々神社庭園、密蔵院多宝塔ほか史跡等環境整備4件、火災報知機整備5件	内々神社庭園、密蔵院多宝塔ほか史跡等環境整備4件、火災報知機整備5件
99 まちなみの保全	都市景観形成建築物の指定	「具体的取組み62」と同様			

(33) 地域文化の継承・創造

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
100 郷土史・伝承技術などの継承	「郷土誌かすがい」の発行	本市の歴史、文化財等を紹介する広報誌の発行	2,500部発行 ホームページへの掲載	2,500部発行 ホームページへの掲載	3,000部発行
	郷土芸能の保存・伝承に対する助成	神楽・棒の手などの郷土芸能の伝承助成	保存伝承補助団体 34、 用具補助団体 11	保存伝承補助団体 34、 用具補助団体 10	保存伝承補助団体 35、 用具補助団体 18
	デジタル博物館	市内にある文化・歴史・民俗・自然資料などをデジタルデータとして保存するとともに、広く鑑賞していただくことを目的にインターネット上に開設	データの追加 市内の植物(11点)、昆虫(9点)のデータを追加	データの追加及びコンテンツの増設 市内の植物(145点)、昆虫(11点)のデータ追加と、 神社・仏閣(122点)、考古(遺跡42点)、石造物(55点)コンテンツの増設を実施	データの追加及びコンテンツの増設の検討 市内の遺跡・遺物などの考古資料(約150点)、 神社・仏閣(約130点)、 植物(173点)、 昆虫(21点)のデータ化

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
101 歴史民俗資料館の整備	歴史民俗資料館(仮称)の整備に向けての資料収集	考古・民俗・歴史資料等を収集・整理・保存し市民に公開	新規登録資料61件(総数:9,267件) 歴史民俗資料館建設検討委員会2回(歴史民俗資料館(仮称)建設については、新長期ビジョン策定に係る市民ニーズ調査の結果中止)	新規登録資料14件(総数:9,206件) 歴史民俗資料館建設検討委員会4回	新規登録資料29件(総数:9,192件)
102 総合的な学習の時間を活用した地域連携による継承	学校やPTAに対する講師の派遣	古墳文化やハニワについて実際に発掘された出土品を教材として活用し、古代人の生活と文化を学習	市政教室1件、出前講座19件	市政教室3件、出前講座19件	市政教室2件、出前講座7件
	総合学習(文化)	田植え・稲刈り・もちつきなど体験を通しての「食文化」の学習、琴・太鼓・書などの伝統文化の学習、竹とんぼなど「伝承遊び」や縄ないなどの体験学習、地域に伝わる昔話や伝説などの講話、地域の文化財の学習	実施学校数 小学校31校 第3学年21校、第4学年6校、第5学年17校、第6学年10校 中学校4校 第1学年3校、第2学年3校、第3学年2校	実施学校数 小学校30校 第3学年23校、第4学年11校、第5学年14校、第6学年17校 中学校4校 第1学年2校、第2学年2校、第3学年2校	実施学校数 小学校24校 学年20校、第4学年3校、第5学年12校、第6学年6校
103 まつりの振興・新しいまつりの創造	春日井まつり	春日井まつりの開催	観覧者 218,000人	観覧者 242,000人	観覧者 313,000人
	ハニワまつり	市民が制作したハニワの野焼き・緑道への設置における下原古窯・二子山古墳等の文化財啓発	市民制作のハニワ111体を野焼きし、ふれあい緑道に据置するとともに「ミニハニワ作り」「勾玉作り」「舞台芸能」などをあわせて実施し、8,847人が参加	市民制作のハニワ95体を野焼きし、ふれあい緑道に据置するとともに「ミニハニワ作り」「勾玉作り」「舞台芸能」などをあわせて実施し、7,820人が参加	市民制作のハニワ108体を野焼きし、二子山公園等に据置するとともに「ミニハニワ作り」「勾玉作り」「舞台芸能」などをあわせて実施し、7,530人が参加

3 美しい地球を守る、地域のしくみがいきづくまち・春日井

資源の有効活用

13 ごみの減量

市民へごみの減量と資源分別の啓発を目的に、「ごみ・資源の出し方便利帳」を転入者に配付、「ごみ・資源出しカレンダー」を全戸配付するとともに、排出マナーとごみに対する意識の向上を図るため、平成19年2月から指定ごみ袋制度を導入しました。

また、都市不用物のリサイクル推進のため、下水汚泥を地盤安定材やセメント原料として有効利用するとともに、市のごみ処理施設で再生資源として生成される溶融スラグや溶融メタルを土木資材や建築資材、有価物として売却し、資源の有効利用を図りました。

今後も、家庭から出るごみの分別の徹底やごみに対する意識の向上を図るとともに、資源化の拡大へ調査・研究を進めていきます。

(34) ごみ減量に取り組む主体の育成

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
104 ごみ減量のための啓発の充実	環境美化・ごみ減量啓発推進事業	「資源・ごみの出し方便利帳」、「資源・ごみ出しカレンダー」の作成・配付	「資源・ごみの出し方便利帳」を15,000部作成し、転入者へ配付するとともに、指定ごみ袋啓発用にも使用した。 「資源・ごみ出しカレンダー」を約145,500部作成し全戸配付するとともに、指定ごみ袋啓発用にも使用した。 広報10月1日号に特集を掲載	「ごみ・資源の出し方便利帳」を131,000部作成し、全戸配付 「ごみ・資源出しカレンダー」を約119,000部作成し、全戸配付 「雑がみ収集開始」チラシを100,000部作成し、全戸配付 広報9月1日号に特集を掲載	「ごみ・資源の出し方便利帳」を2,000部作成し、転入者等に配付 「ごみ・資源出しカレンダー」を約120,000部作成し、全戸配付 広報9月1日号に特集を掲載
	ごみ減量啓発指導員	事業系廃棄物の適正処理と減量を推進するため、各事業所を巡回し、事業系ごみの減量に関する啓発の実施			臨時職員2人を採用 市内の事業所約1,000社を訪問
	事業者向けパンフレット	ごみの減量、資源分別の啓発を目的とした事業者向けパンフレットの作成・配付			ごみ減量啓発指導員による事業所(約1000社)への配付

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
104 ごみ減量のための啓発の充実	公民館講座	市民を対象に講座を実施	飾り傘つくり講座 21人 子ども講座「夏休み工作教室」7人 ふるしき(布)を使った包み方教室 19人		
105 指定ごみ袋制度の導入によるごみ減量化の推進	指定ごみ袋制度	家庭から出るごみのうち、燃やせるごみ、燃やせないごみの排出に使用するごみ袋を指定	平成19年2月1日から家庭から排出される「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」をゴミステーションへ出す場合に、指定ごみ袋の使用を義務付けた。		
106 適正包装などに関する商店などへの指導・連携	ごみ減量推進協力店	市内の小売店を「ごみ減量推進協力店」として認定し、包装紙、袋等の簡素化など、ごみの減量・リサイクルを推進するもの	平成18年度末現在 102店	平成17年度末現在 102店	平成16年度末現在 102店
107 グリーンコンシューマーの拡大	消費者団体育成事業	消費者団体の保護及び育成を目的に、消費者団体育成金を交付	5団体に交付	6団体に交付	6団体に交付

(35) 繰り返し使用(リユース)の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
108 繰り返し使用のための啓発の充実	環境美化・ごみ減量啓発推進事業		「具体的取組み104」と同様		
	公民館講座	市民を対象に講座を実施	実績なし	広告、新聞紙など色のついた紙でコサージュを作ったり、発泡スチロールでよく飛ぶ飛行機を作る。 参加者37人	広告、新聞紙など色のついた紙でコサージュを作ったり、発泡スチロールでよく飛ぶ飛行機を作る。 参加者44人

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
108 繰り返し使用のための啓発の充実	知多公民館短期講座	市民を対象に講座を実施	チラシを使ったペーパーコサージュ作り 参加者33人	実績なし	実績なし
109 不用品交換システムや場の充実	再利用品(家具類・自転車)の展示・販売	粗大ごみのなかでまだ使えそうな家具類や放置自転車を修理して、展示スペースに陳列し、抽選・販売	開催回数6回 家具類 237点、自転車56点、参加者1,245人	開催回数6回 家具類 226点、自転車59点、参加者1,313人	開催回数6回 家具類 263点、自転車57点、参加者1,576人
	フリーマーケット	家庭での不用品を販売するためフリーマーケットを開催	開催回数4回 出展数 131店、参加者4,600人	開催回数4回 出展数 151店、参加者4,600人	開催回数4回 出店数 169店、参加者3,700人
	リサイクルプラザ情報	家庭での不用品を登録し、必要な人に紹介	登録件数75件 成立19組	登録件数65件 成立14組	登録数 101件、成立30組
110 ものの修理・リフォーム利用の促進	おもちゃの病院かすがいと不用なおもちゃ交換市	壊れたおもちゃの修理と不用になったおもちゃの交換会を開催	開催回数12回 参加者237人	開催回数12回 参加者281人	開催回数12回、参加者282人
	くらしに活かす生活展	くらしに活かす生活展での展示・発表・啓発	観覧者8,000人 参加団体18団体	観覧者8,000人 参加団体19団体	観覧者8,500人 参加団体17団体
	知多公民館短期講座	市民を対象に講座を実施	みんなでエコライフ。牛乳パックを使って一輪ざしを作る 参加者13人 牛乳パックリサイクル工作 参加者8人	みんなでエコライフ。牛乳パックを使って一輪ざしを作る 参加者10人	実績なし
	リサイクル講座	ごみ減量とリサイクルに関する講座を開催	開催回数47回、参加者848人	開催回数53回、参加者848人	開催回数51回、参加者832人
111 レンタル・リースの促進(実績なし)					

(36) ごみを再生資源として活かす(リサイクル)活動の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
112 生ごみ資源化の促進	公民館講座	市民を対象に講座を実施	ぼかし作り教室(生ごみを堆肥にするぼかしを作る) 25人		
113 市民・商店などによるリサイクル活動の促進	資源回収団体育成奨励金事業	資源回収登録団体に資源回収量1kg当り5円の奨励金を交付	申請件数 702件、 奨励金額 22,832千円	申請件数 694件、 奨励金額 23,417千円	申請件数 642件、 奨励金額 22,841千円
114 リサイクル品利用の促進	くらしに活かす生活展	「具体的取組み110」と同様			

(37) 事業系一般廃棄物の減量・リサイクルの促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
115 事業者の連携によるリユース・リサイクル活動の促進(実績なし)					
116 大規模事業所などにおけるごみ減量化指導の充実	ごみ減量啓発指導員	「具体的取組み104」と同様			
117 春日井市3R推進事業所認定制度の推進	春日井市3R推進事業所認定制度	3Rに積極的に取り組んでいる市内の事業所を3R事業所として認定し、ごみ減量等を促進するもの	2事業所	4事業所	実績なし
118 不適物の搬入対策の強化(実績なし)					
119 事業系一般廃棄物減量のための事業所等の排出抑制指導(実績なし)					
120 都市不用物のリサイクルの推進	下水道汚泥の有効利用	下水汚泥を地盤安定材及びセメント原料として有効利用する	脱水ケーキ搬出量 15,185t 有効利用 100% 内訳: ・地盤安定材 2,382t ・セメント原料 12,803t (高蔵寺、勝西、南部の3つの浄化センター合計値)		

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
120 都市不用物のリサイクルの推進	建設副産物のリサイクル(勝川駅前・南口周辺土地区画整理事業地内)	建設副産物(アスファルト塊、コンクリート塊など)のリサイクル	勝川駅前 コンクリート塊 216.1t アスファルト塊 641.7t 発生土 357.6m ³ 勝川駅前南口周辺 コンクリート塊 372.0t アスファルト塊 187.5t 発生土 838.6m ³	勝川駅前 コンクリート塊 38.8t アスファルト塊 90.5t 発生土 186.1m ³ 勝川駅前南口周辺 コンクリート塊 784.0t アスファルト塊 155.8t 発生土 1658.5m ³	勝川駅前 コンクリート塊 29.2t アスファルト塊 9.4t 勝川駅前南口周辺 コンクリート塊 644.4t アスファルト塊 547.0t 発生土 2236.9m ³
	建設副産物のリサイクル(区画整理事業区域内)	建設副産物(アスファルト塊、コンクリート塊など)のリサイクル	区画整理事業地区内 (南気噴、大留上、神領、堀ノ内、篠木四ツ谷、松河戸) アスファルト塊 784.80t コンクリート塊 1,808.50t 発生木材 40.01t 発生土 5,237.00m ³	アスファルト塊 1,001t コンクリート塊 886.4t 発生木材 8.5t 発生土 23,767m ³	アスファルト塊 1,449t コンクリート塊 2,225t 発生木材 10t 発生土 24,744m ³
	建設副産物のリサイクル(公共下水道整備区域内)	建設副産物(アスファルト塊、コンクリート塊など)のリサイクル	アスファルト塊 16,134t コンクリート塊 1,030t 発生土 24,825m ³	アスファルト塊 10,702t コンクリート塊 1,649t 発生土 12,347m ³	アスファルト塊 6,800t コンクリート塊 453t 発生土 12,646m ³
	建設副産物のリサイクル(市営住宅解体工事)	建設副産物(アスファルト塊、コンクリート塊など)のリサイクル	コンクリート塊 108t、 木 81t	コンクリート塊 44.64t、 木 9.6t	コンクリート塊 80.4t、 木 8.4t
	建設副産物のリサイクル(上水道配水管布設工事)	上水道配水管布設工事における発生土の再利用	発生土 5,395m ³	発生土 4,392m ³	発生土 6,150m ³

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
120 都市不用物のリサイクルの推進	建設副産物のリサイクル(道路・側溝整備工事)	建設副産物(アスファルト塊、コンクリート塊など)のリサイクル	アスファルト塊 10,640t コンクリート塊 1,537t 発生土 4,692m ³	アスファルト塊 5,576t コンクリート塊 1,862t 発生土 3,881m ³	アスファルト塊 6,052t コンクリート塊 1,564t 発生土 18,992m ³
	剪定枝チップ化	維持管理を行っている街路樹や公園内樹木の剪定枝のチップ化等有効利用	チップ量 373.0t 堆肥量 62.0t	チップ量 455.6t 堆肥量83.3t	チップ量 673.4t 堆肥量 78.2t
	給食残渣等の有効利用	1.小中学校より返送される給食残渣を養豚の飼料として効率的に処理 2. 給食調理時に排出される食用廃油の有効利用(家畜用飼料添加物、石鹸等)を図る 3. 給食物資の包装箱等のリサイクルの実施	1.年間排出合計 150,995kg 2.年間排出合計 530缶(1缶18L) 3.年間排出合計 63,820kg	1.年間排出合計 141,634kg 2.年間排出合計 559缶(1缶18L) 3.年間排出合計 65,992kg	1.年間排出合計 138,040kg 2.年間排出合計 688缶(1缶18L) 3.年間排出合計 56,190kg
	修繕工事副産物のリサイクル及び指導	修繕工事副産物のリサイクル及び指導	コンクリート殻 3.6t 金属くず 7.27t	金属くず 3.8t 廃プラスチック類 0.4t	コンクリート殻 22.0t アスコン殻 14.5t 紙くず 20kg 金属くず 9.1t

(38) 環境に配慮したごみ処理体制の充実

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
121 資源分別収集の充実	資源分別収集	市内全域のごみステーションでの資源(新聞・雑誌・雑がみ・段ボール・牛乳パック類・古着・飲料缶・ガラスびん・ペットボトル)収集	市内ごみステーション 約7,000箇所	市内ごみステーション 約8,000箇所 (平成18年1月より雑がみ回収を開始)	市内ごみステーション 約8,000箇所
122 事業者と連携したリサイクルルートの充実(実績なし)					
123 新たなリサイクル関連制度への対応(実績なし)					
124 溶融スラグなど再生資源の活用の検討	溶融スラグ活用	溶融スラグを愛知県リサイクル資材評価制度(あいくる)の認定資材への有効利用	溶融スラグ:コンクリート2次製品製造者等(10社) 4,766.44t 溶融メタル: 505.05t	溶融スラグ:コンクリート2次製品製造者等(13社) 4,922.25t 溶融メタル: 653.24t	溶融スラグ:コンクリート2次製品製造者(5社) 4,089.28t 溶融メタル: 627.68t

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
125 環境に配慮したごみ処理施設の整備	春日井市ごみ処理施設整備事業	1.リサイクルプラザで鉄、アルミ、金属缶、ガラスびん、ペットボトルの資源化 2.灰溶融炉により焼却灰をスラグ・メタルに資源化 3.焼却の余熱を利用して廃熱ボイラによる高効率発電の実施	1.飲料缶 120.61t ガラスびん 1,075.11t ペットボトル 426.06t 計1,621.78t 2.メタル:銅製錬原料として 全量売却 (505.05t) スラグ:コンクリート二次製品等の原材料として売却 (4,766.44t) 3.場内利用: 133,681.7GJ、 場外利用: 15,560.7GJ	1.飲料缶 186.46t ガラスびん 1,126.99t ペットボトル 479.55t 計1,793.00t 2.メタル:銅製錬原料として 全量売却 (653.24t) スラグ:コンクリート二次製品等の原材料として売却 (4,922.25t) 3.場内利用: 28,217.7GJ、 場外利用: 13,173GJ	1.飲料缶 186.39t ガラスびん 1,170.78t ペットボトル 462.29t 計1,819.46t 2.メタル:銅製錬原料として 全量売却 (627.68t) スラグ:コンクリート二次製品の原材料として売却 (4,089.28t) 3.場内利用: 28,982.7GJ、 場外利用: 13,032.0GJ
	春日井市ごみ処理施設整備事業	「具体的取組み138」と同様			
	ごみ収集車両等の更新	ごみ収集車両等の更新について、新規制対応ディーゼル車両の更新も効果的であるが、さらに効果が期待される天然ガス車両等の更新も視野に入れて実施	新規制対応ディーゼル車両(パッカー車)9台 ・クレーン車1台 計10台更新 天然ガス自動車(ダンプ)1台購入	新規制対応ディーゼル車両(パッカー車)3台 ・ダンプ車1台 ・パキューム車1台 計5台更新	新規制対応ディーゼル車両(パッカー車)4台更新 天然ガス自動車(トラック)1台購入
	発生蒸気の有効利用	「具体的取組み138」と同様			
126 市民・事業者の参画によるごみ処理施策の充実	春日井市廃棄物減量等推進審議会	一般廃棄物の減量及び資源化の促進等を審議	年3回	年3回	年2回

(39) 責任の明確化と費用負担の適正化

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
127 拡大生産者責任を明確にする制度の実施などの要請(実績なし)					
128 事業系一般廃棄物の排出者責任の明確化(実績なし)					
129 家庭系ごみの有料化に関する調査・研究	家庭系ごみの有料化	粗大ごみ、特定廃棄物の有料化	粗大ごみ、特定廃棄物を有料収集	粗大ごみ、特定廃棄物を有料収集	粗大ごみ、特定廃棄物を有料収集

14 水の有効利用

家庭における節水を目的に節水コマの配布や、配水場の施設見学者に対して節水啓発を実施しました。

また、家庭における雨水の有効利用を促進するため、家庭雨水利用促進補助事業を実施するとともに、不要となる浄化槽を雨水貯留施設に改造した浄化槽転用雨水貯留施設の設置者に対し、補助金を交付しました。

今後も市民による雨水の有効利用を促進していきます。

(40) 家庭における節水の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
130 節水に関する教育・啓発の推進と節水型機器の普及の促進	節水型機器の普及	節水コマの配布	節水コマ 84個	節水コマ 304個	節水コマ 55個
	節水啓発(桃山配水場の見学)	施設見学者に対する節水の啓発	施設見学者: 大手小学校 他 171人	施設見学者: 大手小学校 他 122人	施設見学者: 西山小学校 他 192人
131 雨水利用など水の有効利用の促進	家庭雨水利用促進補助事業(雨水貯留タンク・雨水浸透ます)	雨水貯留タンク及び雨水浸透ますの設置者に、10万円を上限に設置費の1/2の補助金を交付し、雨水流出抑制を促進	貯留タンク 8件、 補助金額 276千円 雨水浸透ます 0件	貯留タンク 22件、 補助金額 974千円 雨水浸透ます 0件	貯留タンク 18件、 補助金額 720千円、 雨水浸透ます 0件
	家庭雨水利用促進補助事業(浄化槽転用雨水貯留施設)	不要となる浄化槽を改造して、雨水を貯留する施設の設置者に15万円を上限に設置費の1/2の補助金を交付し、雨水流出抑制を促進	補助件数 7件 補助金額 550千円	補助件数 5件 補助金額 425千円	

(41) 大規模事業所・公共施設における水の循環利用の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
132 大規模事業所における雨水・中水利用の促進(実績なし)					
133 公共施設における雨水・中水利用施設の導入の検討	雨水利用(市役所本庁舎)	雨水の有効利用	雨水を利用し、植栽散水やトイレに利用	雨水を利用し、植栽散水やトイレに利用	雨水を利用し、植栽散水やトイレに利用
134 せせらぎづくりなど下水処理水の活用の検討	下水処理水の有効利用	処理水の有効利用	場内機器洗浄水、場内樹木散水、機器冷却水及び場内の「金魚」が泳ぐ池に使用	場内機器洗浄水、場内樹木散水、機器冷却水に使用	場内機器洗浄水、場内樹木散水、機器冷却水に使用

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
134 せせらぎづくりなど 下水処理水の活用 の検討	下水処理水の有効利用	処理水の有効利用	場内機器洗 浄水、場内樹 木散水、下水 管洗浄用水に 使用	場内機器洗 浄水、場内樹 木散水に使用	場内機器洗 浄水、場内樹 木散水に使用
	下水処理水の有効利用	処理水の有効利用	機械設備洗 浄水及び冷 却水、樹木散 水に使用	機械設備洗 浄水及び冷 却水、樹木散 水に使用	機械設備洗 浄水及び冷 却水、樹木散 水に使用

15 エネルギーの有効利用

省エネルギーの促進を図るため、高効率照明器具や節電蛍光ランプの使用を推進するとともに、市のごみ処理施設(クリーンセンター)ではごみの焼却に伴い発生した蒸気や廃熱を利用した廃熱ボイラーによる発電を行い、場内余熱利用等へ有効利用しました。

また、新エネルギーの普及促進を図る住宅用太陽光発電システムや住宅用太陽熱高度利用システム設置整備事業を実施し、設置者に補助金を交付するとともに、省エネルギーを促進するため新たに住宅用高効率エネルギーシステムの設置者に補助金を交付しました。

今後も、地球温暖化防止対策に効果的な補助事業の実施や省エネルギーに関する啓発を推進していきます。

(42) 省エネルギーの促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
135 省エネルギーに関する教育・啓発の推進と省エネルギー型機器の利用の促進	環境家計簿	「具体的取組み185」と同様			
	節電蛍光ランプの使用(全保育園)	節電蛍光ランプの使用の促進(1本あたり4Wの節電)	年間 519本	年間478本	年間464本
	高効率照明器具の採用	高効率照明器具の採用(1基あたり120Wの節電)	勝川駅前 高欄照明 40台 勝川 駅南口 周辺 道路照明灯 ポール式1基	道路照明灯 ポール式3基	道路照明灯 ポール式1基
136 ESCO事業導入など省エネ対策の検討(実績なし)					
137 エネルギー多消費型事業形態の見直しの促進(実績なし)					

(43) エネルギーの有効利用の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
138 ごみ発電・余熱利用の推進	春日井市ごみ処理施設整備事業	焼却の廃熱を利用した廃熱ボイラーによる高効率発電、場内余熱利用、場内冷暖房、場外余熱利用等に有効利用	余熱利用熱量 393,455 GJ	余熱利用熱量 268,144 GJ	余熱利用熱量 260,655 GJ
	発生蒸気の有効利用	発生蒸気を利用して発電を行い、場内余熱利用、場内冷暖房、場外余熱利用等に有効利用	発電量 44,616,020 kWh 売電量 10,800,482 kWh	発電量 41,538,280 kWh 売電量 6,438,460 kWh	発電量 39,012,650 kWh 売電量 5,594,540 kWh

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
139 コージェネレーションなど高効率設備の普及の促進	住宅用高効率エネルギーシステム設置整備事業	自ら居住する市内の住宅に高効率エネルギーシステムを設置する者に対し、補助金を交付	補助件数 180件、 補助金額 7,200千円		
140 深夜電力の有効利用の促進	くらしに活かす生活展	「具体的取組み110」と同様			

(44) 新エネルギーの普及の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
141 家庭・事業所における太陽光・太陽熱・風力など自然エネルギー設備の設置の促進	住宅用太陽光発電システム設置整備事業	自ら居住する市内の住宅に太陽光発電システムを設置する者に対し、補助金を交付(1kWあたり5万円、4kW上限)	補助件数 69件 総電力量 236kW 補助金額 11,138千円 CO2削減量 155.76t/年	補助件数 82件 総電力量 314.43kW 補助金額 23,217千円 CO2削減量 207.52t/年	補助件数 98件 総電力量 353.61KW 補助金額 29,030千円 CO2削減量 233.38t/年
	住宅用太陽熱高度利用システム設置補助	自ら居住する市内の住宅に太陽熱高度利用システムを設置する者に対し、補助金を交付	補助件数 1件 補助金額 50千円 CO2削減量 0.9t/年	補助件数 27件 補助金額 2,063千円 CO2削減量 17.85t/年	平成17年度以降(検討)
142 公共施設における自然エネルギー設備の導入の推進	不二小学校分離校太陽光発電装置設置工事(産業等用太陽光発電フィールドテスト事業)	自然エネルギーの有効利用と災害時の停電対策にも利用できる太陽光発電装置の設置校舎の屋根面に太陽電池を設置して校内電力と連係したシステム(30kW)	不二小学校分離校である出川小学校の新築工事に併せて、太陽光発電システムの設置工事を実施。その設置に関するコストデータを取得。また、太陽光発電システムの設置完了により、実際の負荷のもとでの継続した運転データ等を収集できる環境を整備。		
143 地域新エネルギービジョン策定の検討(実績なし)					
144 燃料電池など新エネルギーに関する調査・研究(実績なし)					

環境に配慮した産業

16 農地・森林を守る産業

遊休農地の活用を図るため「市民農園整備事業」を実施するとともに、農業廃棄物の適正処理を図るため、農業用廃プラスチックや農薬の使用済容器の回収を実施しました。

今後も、「春日井市環境保全型農業推進方針」に基づき、農業活動による環境負荷の低減などを推進していきます。

(45) 持続可能な農業への支援

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
145 自然農の取組みの促進	春日井市環境保全型農業推進	「具体的取組み148」と同様			
146 商店などと連携した地産地消の取り組みの促進	地域でとれた食材の学校給食利用	商店や農家などと連携し、地域でとれた食材を学校給食に利用するなど地産地消の促進	巨峰 914kg みつば 136kg さつまいも 261kg にんじん 818kg	巨峰 673kg みつば 124kg さつまいも 500kg	さつまいも 500kg
147 遊休農地を活用した農業体験の場と機会の充実	市民農園整備事業	市街化区域内の農地の有効利用	新規農園 出川第11号農園・ 出川第12号農園	新規農園 大留農園 拡大 出川第10号農園	新規農園 出川第10号農園
148 農業廃棄物の適正処理と有効利用の促進	春日井市環境保全型農業推進	農業用廃プラスチック類(ビニールハウスのビニール、畦シート、マルチ、育苗箱等)及び、農薬の使用済み容器の回収	事業主体 尾張中央農業協同組合、実施 年1回(有料) 回収処理内容 廃プラスチック類 758.75kg、 農薬の使用済み容器 542.5kg	事業主体 尾張中央農業協同組合、実施 年1回(有料) 回収処理内容 廃プラスチック類 1,683.2kg、 農薬の使用済み容器 738kg	事業主体 尾張中央農業協同組合、実施 年1回(有料) 回収処理内容 廃プラスチック類 1,568.4kg、 農薬の使用済み容器 825.4kg
149 農薬・化学肥料を使用しない農業の啓発(実績なし)					

(46) 森林を保全する産業の創出

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
150 間伐材など不用材の活用と炭焼きなどの振興による里山の活用	間伐材利用	公園内の木製ベンチに間伐材を使用	糸田公園に設置	段下公園、松戸緑道に設置	大池緑地に設置
151 森林保全に向けた生業の創出の促進(実績なし)					

17 環境に配慮した経営

公害防止のために特に必要があると認められる場合、市内の工場や事業者と市において公害防止協定を締結し、公害防止対策の推進を図っています。協定は法律や条例による規制だけでは不十分と思われる部分を補完する有効な手段であり、平成18年度は新たに2事業所と協定を締結しました。

また、市における環境配慮の推進として、ISO14001における維持審査や内部監査を実施するとともに、市内の事業所がISOを認証取得することを促進するため補助を実施しています。

今後も、事業者による環境に配慮した取組みを支援していきます。

(47) 環境に配慮した商店の育成

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
152 エコショップ制度の創設による環境配慮型商店の拡大	春日井市3R推進事業所認定制度		「具体的取組み117」と同様		
	ごみ減量推進協力店		「具体的取組み106」と同様		
153 環境に配慮した地域密着型商店街の育成(実績なし)					
154 大型店に対する環境配慮の要請	大規模小売店舗立地法に基づく市の意見提出	大規模小売店舗立地法に基づき周辺地域の生活環境配慮のため、市としての意見を県に提出	8件届出	4件届出	6件届出

(48) 環境経営に取り組む事業所の育成

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
155 環境マネジメントシステムの導入の促進	国際標準化機構認証取得助成	市内に事業所を有する中小企業者がISOを認証取得した場合に補助を実施	ISO14001 9件	ISO14001 7件	ISO14001 12件
156 春日井環境標準事業所版策定の検討と登録制度の創設(実績なし)					
157 公害防止協定締結事業所の拡大と協定内容の充実	公害防止協定	公害の防止のため特に必要があると認める場合に事業者と公害防止協定を締結	締結件数2事業所、廃止0事業所、総事業所数63事業所	締結件数6事業所、廃止1事業所、総事業所数61事業所	締結件数2事業所、廃止2事業所、業所数56事業所
158 地域環境保全活動への参加の促進(実績なし)					
159 市役所における環境配慮の推進	環境マネジメントシステム	市役所の事務・事業の実施時に、ISO14001環境マネジメントシステムを一つの手段として、継続的に環境負荷の低減と環境保全活動の推進	第1回サーベイランス(維持審査)8部19部局 内部環境監査85部局(125部局) 第2回サーベイランス(維持審査)8部19部局	第5回サーベイランス(維持審査)10部26部局 内部環境監査全部局(125部局) 第2回更新審査16部26部局	第3回サーベイランス(維持審査)8部19部局 内部環境監査全部局(127部局) 第4回サーベイランス(維持審査)7部26部局

18 エコビジネス

コミュニティビジネスの育成や支援を行うため、NPOや市民団体へ公共事業の委託化を検討するとともに、NPO・市民団体の地域における情報提供や事業化に関する活動に対する支援として「市民活動支援センター(仮称)」の設置について検討していきます。

(49) エコビジネスの起業・事業化の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
160 起業・事業化に関する啓発と経営相談の実施(実績なし)					
161 地元大学と連携したエコプロダクツ共同開発への支援	産学共同研究事業助成	地元大学と市内事業所が共同研究する場合に補助を実施	実績なし	2件 新規陰イオン交換体の開発・複雑形状セラミックの検査のためのアルゴリズム研究	1件 MDIとポリオールによる強靱段ボールへの寸法伸縮抑制機能付与及びエアークッション用フィルム溶着条件の確立
162 環境ビジネス研究会・サロンの創設(実績なし)					

(50) コミュニティビジネスの育成・支援

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
163 NPO・市民団体による起業・事業化への支援	市民活動支援センター(仮称)の支援	NPO・市民団体の地域における情報提供や事業化に関する活動に対する支援	平成19年度に支援センターをオープン予定		
164 NPO・市民団体への公共事業の委託化の調査・研究(実績なし)					
165 エコマネーなどの導入の検討(実績なし)					

公害防止・環境負荷の低減

19 健康な暮らし

悪臭や水質汚濁の防止を図るため、事業所に対する立入調査や指導、公害防止計画書の受理・技術審査を実施しました。また、地下水への有害物質の地下浸透を未然に防止するため、愛知県地下水質測定計画に基づく概況調査やモニタリング調査を実施しました。

騒音防止対策では、苦情申立て時の発生源者に対し指導を徹底するとともに、航空機騒音対策として、対象地域(コンター)内の家屋について機能回復工事を実施しました。土壌汚染防止では、土壌汚染対策法に基づく届出審査や事業所指導を実施しました。

また、大気汚染調査として大気中のダイオキシン類濃度測定を2地点で、ベンゼンなどの揮発性有機化合物測定を4地点でそれぞれ年4回実施し、全ての地点で環境基準に適合しました。

他にも、公共下水道の整備促進として、供用開始区域内における未接続者に対し直接訪問し、早期切換えの依頼をするとともに、公共下水道の面的整備を48.3ヘクタール実施しました。

今後も法律、条例、公害防止協定に基づき事業所への立入り調査や指導などを適正に実施するとともに、生活排水対策としても必要な公共下水道の面的整備や未接続者に対する早期切換えの依頼を実施していきます。

(51) 大気汚染・悪臭の防止

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
166 工場など固定発生源対策の推進	県民の生活環境の保全等に関する条例の悪臭の届出、公害防止計画書審査	届出・公害防止計画書の受理・審査	県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく悪臭関係工場等届出審査件数 28件 公害防止計画書審査件数 15件	県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく悪臭関係工場等届出審査件数 29件 公害防止計画書審査件数 11件	県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく悪臭関係工場等届出審査件数 29件 公害防止計画書審査件数 29件
	公害防止協定等による指導	公害関係法令に規定する特定施設等の設置状況などを立入調査し、公害防止協定等に規定する基準の遵守指導等を行うことにより、固定発生源対策の推進を図る 公害防止協定に規定する排出状況の測定結果報告により、協定遵守状況を確認	立入調査件数 69件 自主測定結果確認件数 81件	立入調査件数 89件 自主測定結果確認件数 56件	立入調査件数 111件 自主測定結果確認件数 68件

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
166 工場など固定発生源対策の推進	事業所立入(悪臭・大気関係工場)	悪臭関係工場等の事業所立入・調査指導	悪臭に関する事業所立入件数 38件 大気汚染に関する事業所立入件数 83件	悪臭に関する事業所立入件数 41件 大気汚染に関する事業所立入件数 125件	悪臭に関する事業所立入件数 56件 大気汚染に関する事業所立入件数 120件
167 自動車排出ガスの抑制対策	エコドライブ啓発	法定速度の遵守(無謀運転の防止等)について、各季の交通安全運動の中でキャンペーン活動等を実施するとともに事業者に対し協力依頼文書を送付している。また、交通規制についても関係機関へ要望している。	レディヤン春日井(県道内津勝川線)前にて実施	レディヤン春日井(県道内津勝川線)前にて実施	尾張中央農協春日井中央支店前(春日井一宮線)にて実施
	エコワールド	「具体的取組み19」と同様			
168 野焼き・簡易焼却炉による焼却行為の防止	野焼き等焼却行為禁止の啓発	広報、パンフレット、インターネットにより野焼き禁止の啓発、発生源者に対して指導を実施	苦情申立による発生源者の指導件数 102件	苦情申立による発生源者の指導件数 135件	苦情申立による発生源者の指導件数 144件

(52) 水質汚濁の防止

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
169 工場など固定発生源対策の推進	公害防止協定等による指導	「具体的取組み166」と同様			

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
169 工場など固定発生源対策の推進	事業所立入(水質関係)	特定事業場等の事業場立入、水質検査	立入調査件数 189件 (内水質検査 100件) (内訳) 特定事業場 148件(内採水検査 85件)、協定締結事業場 25件(内採水検査 20件)、その他事業場 41件(内採水検査 15件) 指導件数(文書指導) 6件(改善勧告 1件、改善指導 2件、改善通知 3件) 行政処分0件	立入調査件数 310件 (内水質検査 166件) (内訳) 特定事業場251件(内採水検査 146件)、協定締結事業場 35件(内採水検査 23件)、その他事業場 45件(内採水検査 18件) 指導件数(文書指導) 23件(改善勧告2件、改善指導5件、改善通知16件) 行政処分0件	立入調査件数 315件 (内水質検査 181件) (内訳) 特定事業場262件(内採水検査 157件)、協定締結事業場 36件(内採水検査 22件)、その他事業場 44件(内採水検査 23件) 指導件数(文書指導) 28件(改善勧告1件、改善指導5件、改善通知20件、口頭指導2件) 行政処分0件
	水質汚濁防止法届出、公害防止計画審査	届出、公害防止計画書の受理、審査	水質汚濁防止法に基づく届出審査件数 134件 公害防止計画書審査件数 16件	水質汚濁防止法に基づく届出審査件数 86件 公害防止計画書審査件数 11件	水質汚濁防止法に基づく届出審査件数 90件 公害防止計画書審査件数 29件
170 公共下水道の整備	下水切替普及活動	公共下水道、供用開始区域内の未接続家屋所有者等に対して、直接訪問し公共下水道への早期切替を依頼	年間 4,382戸	年間 3,817戸	年間 3,312戸
	下水道啓発活動	下水道普及パネル、排水設備パネルの展示、パンフレットの配布等で公共下水道の啓発・PRを実施	「くらしに活かす生活展」 「下水道の日」	「くらしに活かす生活展」 「下水道の日」	「くらしに活かす生活展」 「下水道の日」
	下水道整備促進	公共下水道の面的整備	整備 48.3ha (普及率 64.0%)	整備 31.8ha (普及率 62.8%)	整備 28.4ha (普及率 62.7%)
	排水設備審査(公共下水道区域)・事業所立入	排水設備確認及び完了検査 事業所の立入・水質検査	申請 1,429件 検査1,412件 立入調査件数 158件 指導件数 96件	申請1,380件 検査1,417件 立入調査件数 170件 指導件数 105件	申請1,546件 検査1,554件 立入調査件数 195件 指導件数 86件

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
171 合併処理浄化槽の設置や単独処理浄化槽からの転換の促進	合併処理浄化槽設置費補助制度	生活排水による公共用水域の汚濁を減少させる目的で、公共下水道認可区域外で個人の専用住宅に合併処理浄化槽を設置する場合の工事費用の一部を補助	補助基数 281基、 47,734千円	補助基数 281基、 47,854千円	補助基数 272基、 46,901千円
	神屋団地大型浄化槽改築整備工事	昭和40年代に設置された、神屋団地の単独処理浄化槽を、合併処理浄化槽への改築整備に対し補助を行なう。	実施設計に対し補助 99,939千円	実施設計に対し補助 13,650千円	
172 河川汚濁事故への対応	公害苦情調査	河川水質異常調査等、水質関係の公害苦情状況調査、発生源調査指導を実施	水質関係公害苦情件数 41件 (内訳)工場・事業場における公害苦情18件、建設作業における公害苦情4件、家庭生活(浄化槽等)における公害苦情4件、その他6件、自然現象2件、原因不明7件	水質関係公害苦情件数 44件 (内訳)工場・事業場における公害苦情17件、建設作業における公害苦情4件、家庭生活(浄化槽等)における公害苦情11件、その他5件、自然現象3件、原因不明4件	水質関係公害苦情件数 35件 (内訳)工場・事業場における公害苦情16件、建設作業における公害苦情3件、家庭生活(浄化槽等)における公害苦情12件、原因不明4件
173 地下水の水質保全	事業所立入(地下水関係)	特定事業所等の事業場立入を行い有害物質の適正管理、地下浸透の防止を指導	立入件数 189件	立入件数 310件	立入件数 315件
	地下水水質調査	水質汚濁防止法に基づき定められる愛知県地下水質測定計画に基づく概況調査(市内を5kmメッシュに区分したメッシュから新たな調査井戸を選定)を2地点で実施また、測定計画に含まないが、過去の調査結果において、環境基準を超過するなど今後においても定期的に調査を継続する必要がある地点についてのモニタリング調査を実施	測定計画に基づく概況調査(中央台、下条町)定期モニタリング調査(西高山町(2井戸))モニタリング調査:牛山町(2井戸)、如意申町(2井戸)、鷹来町(2井戸)、明知町(1井戸)	測定計画に基づく概況調査(西高山町、高森台)モニタリング調査:牛山町(5井戸)、如意申町(2井戸)、鷹来町(2井戸)、明知町(1井戸)	測定計画に基づく概況調査(鳥居松町、堀ノ内町)モニタリング調査:牛山町(2井戸)、如意申町(2井戸)、鷹来町(2井戸)

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
174 河川浄化活動など 市民活動の促進	河川浄化モデル 地区	自発的に河川の水質 監視、汚濁防止の活 動をする地区を河川 浄化モデル地区に指 定し、地域の住民に よる河川浄化活動の 推進を図る。また、各 団体から生活排水ク リーン推進員を推薦 してもらい、生活排水 の汚れを減らす啓発 活動や、学習会の開 催等の活動を実施	14団体をモデル 地区に指 定、生活排水 クリーン推進 員14人	12団体をモデル 地区に指 定、生活排水 クリーン推進 員12人	13団体をモデル 地区に指 定、生活排水 クリーン推進 員13人

(53) 騒音・振動の防止

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
175 道路交通対策の推 進	エコワールド	「具体的取組み19」と同様			
	自動車交通騒 音、道路交通騒 音調査	「具体的取組み8」と同様			
176 航空機騒音対策の 促進	学習等供用施設 等整備	学習等供用施設及び 移転補償跡地の整備	学習等供用 施設の改修工 事 5箇所 移転補償跡 地の整備工事 5箇所	学習等供用 施設の改修工 事 3箇所 移転補償跡 地の整備工事 5箇所	学習等供用 施設の新築工 事 1箇所 学習等供用 施設の改修工 事 4箇所 移転補償跡 地の整備工事 5箇所
	春日井市飛行場 周辺対策市民協 議会	春日井市飛行場周辺 対策市民協議会によ る要望活動等(騒音 の低減、安全飛行の 徹底、周辺環境対策 の充実)	県内運動1 回、中央運動 1回、申し入れ 2回	県内運動1 回、中央運動 1回、申し入れ 1回	県内運動2 回、中央運動 2回、申し入れ 2回

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
176 航空機騒音対策の促進	機能回復工事	対象区域(コンター)において、昭和57年3月30日以前に建築された住宅の防音工事、防音工事から10年以上経過した空調機の取替工事(機能回復工事)、機能回復工事から10年以上経過した空調機の取替工事(再更新工事)を実施	防音工事0件、機能回復(未実施)工事8台、機能回復(告示日後)工事29台、再更新工事28台	防音工事11件、機能回復(未実施)工事11台、再更新工事27台	防音工事11件、機能回復(未実施)工事880台、機能回復(告示日後)工事133台、再更新工事423台
	航空機騒音測定	24時間常時測定2地点、短期測定3地点について実施	常時測定:味美西本町、味美ふれあいセンター(愛知県実施) 両地点とも環境基準不適合 短期測定:花長、勝川南部、二子学習等供用施設 1地点環境基準適合	常時測定:味美西本町、味美ふれあいセンター(愛知県実施) 両地点とも環境基準不適合 短期測定:花長、味美町、二子、惣中学習等供用施設 3地点環境基準適合	常時測定:味美西本町、新開公園(大阪航空局実施) 両地点とも環境基準不適合 短期測定:味美町、二子町、春日井上ノ町学習等供用施設 1地点環境基準適合
177 工場・事業場・建設業対策の推進	公害防止協定等による指導	「具体的取組み166」と同様			
	事業所立入(特定事業所)	特定事業場等の事業場立入調査・指導	立入件数77件(騒音)、5件(振動)	立入件数82件(騒音)、6件(振動)	立入件数99件(騒音)、3件(振動)
	騒音・振動に関する指導	苦情申立て時の発生源者に対する指導の徹底	苦情申立て(工場、事業場、建設作業等) 騒音 76件、振動 4件	苦情申立て(工場、事業場、建設作業等) 騒音 80件、振動 5件	苦情申立て(工場、事業場、建設作業等) 騒音 99件、振動 3件

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
177 工場・事業場・建設 業対策の推進	騒音規制法、振 動規制法、県民 の生活環境の保 全等に関する条 例の届出、公害 防止計画書審査	届出・公害防止計画 書の受理・審査	騒音規制法に 基づく届出審 査件数 54件 振動規制法に 基づく届出審 査件数 31件 県民の生活環 境の保全等に 関する条例に 基づく届出審 査件数 騒音関係 138件、振動 関係 167件 特定建設作 業実施届出 審査件数 719件 公害防止計 画書審査件 数 15件	騒音規制法に 基づく届出審 査件数 26件 振動規制法に 基づく届出審 査件数 23件 県民の生活環 境の保全等に 関する条例に 基づく届出審 査件数 騒音関係 56 件、振動関係 65件 特定建設作 業実施届出 審査件数 682件 公害防止計 画書審査件 数 11件	騒音規制法に 基づく届出審 査件数 20件 振動規制法に 基づく届出審 査件数 20件 県民の生活環 境の保全等に 関する条例に 基づく届出審 査件数 騒音関係 17 件、振動関係 20件 特定建設作 業実施届出 審査件数 700件 公害防止計 画書審査件 数 29件
178 近隣騒音対策の推 進	騒音指導(近隣騒 音)	近隣騒音苦情に係る 発生源の立入調査・ 指導	苦情申立て14 件(営業騒 音、家庭生活 騒音)	苦情申立て22 件(営業騒 音、家庭生活 騒音)	苦情申立て12 件(営業騒 音、家庭生活 騒音)

(54) 土壌汚染の防止

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
179 工場などにおける 土壌汚染の防止	土壌汚染対策法 届出、県民の生 活環境の保全等 に関する条例の 届出	受理、審査	土壌汚染対策 法に基づく届出 審査件数 2件 県民の生活環 境保全に関す る条例に基づ く届出審査件 数 8件	土壌汚染対策 法に基づく届出 審査件数 5件 県民の生活環 境保全に関す る条例に基づ く届出審査件 数 16件	土壌汚染対策 法に基づく届出 審査件数 5件 県民の生活環 境保全に関す る条例に基づ く届出審査件 数 17件
	春日井市土壌汚 染対策法施行細 則に基づく届出	受理、審査	土地利用状 況の報告件数 11件	土地利用状 況の報告件数 9件	平成16年9月 1日施行、報 告期限の延長 の申請、土地 利用状況の報 告義務
180 土壌汚染事故への 対応	事業所指導(土 壌)	汚染の拡散を防ぐた めの応急措置及び恒 久措置の実施指導	土壌汚染報 告 0件	土壌汚染報 告 4件	土壌汚染報 告 2件

(55) 不法投棄の防止

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
181 不法投棄の監視・連絡体制の充実と警察などとの連携・指導強化	不法投棄に伴う指導	不法投棄に伴う苦情等により調査を実施し、必要に応じ愛知県、警察と連携を図り指導を実施	不法投棄件数 2,051件	不法投棄件数 2,117件	不法投棄件数 2,837件
182 ポイ捨て・ふん害などに対する市民モラルの向上と地域における取組みの検討	ポイ捨て・ふん害防止事業	拠点美化事業、地域環境美化事業、ポイ捨てふん害防止啓発事業、クリーン大作戦	拠点美化事業（市役所周辺参加者 600人） 地域環境美化事業（ふれあい緑道、庄内川、国道清掃） ポイ捨て・ふん害防止啓発事業（駅周辺環境美化活動、ポイ捨て・ふん害防止啓発） クリーン作戦（参加者69,409人）	拠点美化事業（落合公園 参加者1,100人） 地域環境美化事業（勝川、庄内川、国道清掃） ポイ捨て・ふん害防止啓発事業（駅周辺環境美化活動、ポイ捨て・ふん害防止啓発） クリーン作戦（参加者90,864人）	拠点美化事業（尾張広域緑道他参加者1,000人） 地域環境美化事業（勝川、庄内川、国道清掃） ポイ捨て・ふん害防止啓発事業（駅周辺環境美化活動、ポイ捨て・ふん害防止啓発） クリーン作戦（参加者91,500人）

(56) 暮らしに影響を及ぼす環境リスク対策の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
183 新たな規制化学物質の調査の実施と情報提供	大気汚染調査(ダイオキシン類等大気汚染物質)	市内の大気中のダイオキシン類及び揮発性有機化合物濃度を測定	大気中ダイオキシン類：出川保育園と勝川南部学習等供用施設の2地点 大気中揮発性有機化合物：市役所始め4地点 いずれの項目もすべて環境基準に適合	大気中ダイオキシン類：出川保育園と勝川南部学習等供用施設の2地点 大気中揮発性有機化合物：市役所始め4地点 いずれの項目もすべて環境基準に適合	大気中ダイオキシン類：出川保育園と勝川南部学習等供用施設の2地点 大気中揮発性有機化合物：市役所始め4地点 いずれの項目もすべて環境基準に適合
184 未規制化学物質・健康影響要因の情報収集と対策の検討	春日井市公共建築物シックハウス対策指針	公共建築物の建設及び管理にあたり、市民が利用する施設の室内空気中の化学物質濃度の低減化を図るための指針の作成	春日井市公共建築物シックハウス対策指針平成18年12月15日施行	実績なし	実績なし

20 地球環境の保全

春日井市地球温暖化対策実行計画に基づき、市役所における電気使用量や公用車の燃料使用量の削減に努め、温室効果ガスの排出抑制を図っています。

また、環境負荷の少ない低公害車を計画的に導入するため、「低公害車導入計画」を策定し低公害車の導入目標を定めるとともに、環境物品等の調達を推進するため、「グリーン調達計画」を策定しました。

他にも、家族などで実施する取組みを推奨するため、家庭で省エネに関する取組みを実施している家族を「エコチーム かすがい」として認定しました。

今後も、地球環境問題への取組みとして、地球温暖化に対する市民意識の高揚を図る学習会等の開催を推進していきます。

(57) 地球温暖化対策の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
185 二酸化炭素の排出抑制の推進	環境家計簿	家庭から排出される二酸化炭素排出量が記録できる環境家計簿を作成し、日常生活と地球温暖化が密接に関係していることを認識し、ライフスタイルを見直すきっかけとする	家庭でも簡単に二酸化炭素の排出量が計算できるように内容を見直し、削減に関する取組みを、ステップ1・ステップ2に分けて判りやすくして作成	二酸化炭素排出量6%削減を目標にし、各家庭から出る二酸化炭素の量を点検できるよう内容を見直し作成	「地球にも家計にもやさしいエコライフレッスン」をテーマに二酸化炭素排出量と光熱水費の削減量の目安を示し、家族で考えながらチェックできるよう内容を見直し作成
	住宅用太陽光発電システム設置整備事業	「具体的取組み141」と同様			
	住宅用太陽熱高度利用システム設置補助	「具体的取組み141」と同様			
	住宅用高効率エネルギーシステム設置整備事業	「具体的取組み139」と同様			
	低公害車導入計画	公用車において環境負荷の少ない低公害車の導入を図る目標：平成18年度までに40% 平成22年度までに60%	平成18年度末現在、公用車における低公害車の割合36% 天然ガス自動車2台購入(ごみ収集車・軽自動車)	天然ガス自動車2台購入(小型貨物車・軽自動車)	天然ガス自動車1台購入(ごみ収集車)
低公害車導入促進費補助事業	「具体的取組み14」と同様				

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
186 家族等で実施する 取組みの検討及び 推奨	エコチーム・かすがい	家庭での省エネに関する取組みを実施している家族をエコチーム・かすがいとして認定。特に優れた取組みを行なった家族をエコマスターとして認定。	エコチーム・かすがい エコマスター 2家族 エコチーム・かすがい 11家族		
187 地球温暖化対策実行計画の推進	春日井市役所地球温暖化対策実行計画	平成13年1月に策定した「春日井市役所地球温暖化対策実行計画」に基づき、電気使用量の削減、公用車などの燃料使用量の抑制などに取り組み、温室効果ガス(二酸化炭素換算)の排出量を抑制する。	平成17年度・18年度における温室効果ガス(二酸化炭素換算)の排出量の合計は119,009トンになり、平成10年度(基準年度・60,302トン)の2倍(120,604トン)に対して1,595トン、率にして1.3%削減	平成17年度における温室効果ガス(二酸化炭素換算)の排出量は60,444トンになり、平成10年度(基準年度・60,302トン)に対して142トン、率にして0.2%増	平成12年度から平成16年度までの5年間における温室効果ガス(二酸化炭素換算)の排出量は290,475トンになり、平成10年度(基準年度・60,302トン)の5倍(301,510トン)に対して11,026トン、率にして3.7%削減 計画の見直し(排出量削減目標の変更など)
	グリーン調達計画	「春日井市環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に基づき、率先して環境物品等の調達の推進を図ることを目的に、市の調達する物品等に関する計画の策定	80.5%(全体の購入量におけるエコ商品の割合) 42品目	76.4%(全体の購入量におけるエコ商品の割合) 38品目	75.2%(全体の購入量におけるエコ商品の割合) 36品目
188 地球温暖化防止に関する市民意識の高揚	エコセミナー	「具体的取組み206」と同様			
	環境家計簿	「具体的取組み185」と同様			
189 森林の保全と緑化の推進	街路樹維持管理	「具体的取組み8」と同様			
	公園植栽整備	「具体的取組み37」と同様			
	保存樹等指定	「具体的取組み36」と同様			

(58)オゾン層の保護

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
190 フロン排出抑制の促進(実績なし)					
191 適切なフロン回収の促進(実績なし)					

(59)その他の地球環境問題への取組み

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
192 公共工事における 熱帯材の使用抑制 などの推進	鋼矢板使用(公共 下水道整備区域 内)	鋼製矢板を使用	39件	28件	23件
	鋼矢板使用(上水 道配水管布設工 事)	鋼製矢板を使用	9件	5件	1件
	熱帯材使用抑制 (道路・側溝整備、区画整理事業区域内)	公共工事環境配慮指針により公共工事における型枠の熱帯材の使用抑制及び指導	熱帯材の型枠 使用量:0	熱帯材の型枠 使用量:509 m ²	熱帯材の型枠 使用量:0
	市営住宅建替工 事	躯体の型枠に針葉樹複合型枠を使用	針葉樹型枠に 替え樹脂型枠 を採用した。	市営東野住宅第2期建替工事で型枠使用材料の約50%を針葉樹を含んだものを使用	市営東野住宅第2期建替工 事 型枠使用材 料の約50%を 針葉樹を含ん だものを使用
193 酸性雨調査の実施 と対策の検討	酸性雨測定	市民会館屋上に大気降下物採取器を設置し、1降雨毎に雨水を分析	分析項目:pH 始め10項目、 pHの年平均 値は4.6	分析項目:pH 始め10項目、 pHの年平均 値は4.6	分析項目:pH 始め10項目、 pHの年平均 値は4.6
194 国際的取組みに関する情報収集・参加(実績なし)					

21 環境監視活動

環境基準が定められた大気、水質、騒音などについて計画的に実施するため、監視測定計画書を毎年度作成するとともに、計画書に基づき環境監視を実施し、調査結果を「環境調査報告書」として取りまとめ情報提供しています。

他にも、環境実務教室として、環境分析センターの設備を利用した分析体験や、事業者に対してP R T R (化学物質の排出量把握)に関する情報提供を実施しました。

(60) 環境測定・監視の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
195 環境測定・監視の推進	環境監視体制	大気、水質、騒音、地盤沈下等の測定	平成18年度監視測定計画書に基づき実施	平成17年度監視測定計画書に基づき実施	平成16年度監視測定計画書に基づき実施
196 市民による簡易な環境測定の促進と環境保全意識の高揚	河川浄化モデル地区	「具体的取組み174」と同様			
197 環境分析センターの充実と市民利用制度の創設	環境教室	身近な環境問題に関心を高めるため、講演と環境分析センターの設備を使用した分析体験	講演「もったいないを考える～持続可能な社会の構築に向けて」 分析体験：COD測定、重金属測定、pH等一般項目測定 参加者 32人	「地球環境ミートイニング」 環境活動発表「市内河川の水質調査」高蔵寺中学校1年生 講演等「家庭で行える地球環境保全」 中部大学応用生物学部環境生物学科 谷山鉄郎教授 2日実施 参加者 67人	講演「循環型社会と住民の役割」 分析体験：COD測定、重金属測定、ガスクロマト測定、三点比較式臭袋法を体験 3回実施 参加者57人
	環境分析センター施設開放	実験を中心とした、理科教室の開催	親子おもしろ実験室 参加者 7人	実績なし	夏休みおもしろ実験室 18組 参加者42人
	分析機器整備	分析機器の整備	イオンクロマトグラフ、遠心分離機、電気伝導率計	風速計、ばいじん測定装置、廃液中和処理装置、pH計	超純水製造装置、ピペット洗浄器
	分析実習および施設見学(環境分析センター)	「具体的取組み238」と同様			

(61) エコチェック手法の充実

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
198 環境配慮状況の把握・評価 (実績なし)					
199 環境負荷量の把握・啓発	環境家計簿	「具体的取組み185」と同様			
200 環境汚染物質排出・移動登録(PRT R)制度の促進に関する調査・研究	P R T R制度の事業者の取組促進	P R T R制度(化学物質の排出量把握)における事業者への情報提供	化学物質に関する法規制、県民の生活環境の保全等に関する条例による規制、春日井市内の化学物質の排出量等の情報について、ホームページにより情報提供を実施 また、事業場立入調査等の契機に必要に応じ、市内事業者に対し法概要などの情報提供を実施	化学物質に関する法規制、県民の生活環境の保全等に関する条例による規制、春日井市内の化学物質の排出量等の情報について、ホームページにより情報提供を実施 また、事業場立入調査等の契機に必要に応じ、市内事業者に対し法概要などの情報提供を実施	化学物質に関する法規制、県民の生活環境の保全等に関する条例による規制、春日井市内の化学物質の排出量等の情報について、ホームページにより情報提供を実施 また、事業場立入調査等の契機に必要に応じ、市内事業者に対し法概要などの情報提供を実施
201 ライフサイクルアセスメント(LCA)の促進に関する調査・研究(実績なし)					

(62) 各種事業における環境影響の把握と対策の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
202 環境影響に関する調査の充実	環境影響調査	環境影響評価準備書に係る市の意見の提出	実績なし	熊野桜佐土地区画整理事業 1件	実績なし
203 パートナーシップによる環境影響の評価手法の検討(実績なし)					
204 環境データの蓄積と利用の推進	環境調査報告書	水質・大気など、市内の環境調査をとりまとめ毎年度発行	環境調査報告書(平成18年版)	環境調査報告書(平成17年版)	環境調査報告書(平成16年版)
	身近な環境調査	「具体的取組み89」と同様			

4 ネットワークを活用し、環境市民が育つまち・春日井

環境市民

22 環境学習への参加

市民の環境に対する関心を高めるため、リサイクルフェアなど市民と連携したエコイベントを実施するとともに、子どもや主婦など幅広い世代を対象として、様々なテーマでエコセミナーを開催しました。

また、市民、事業者、市の協働による環境まちづくりの推進組織として、平成14年12月に設立した「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議」では、わいわいカーニバルや春日井まつりなどで環境ブースを設け、当会議の活動報告や環境啓発を実施しました。保育園では、遊びや紙芝居などで園児に環境の大切さを伝え、ごみの分別や減量に取り組むとともに、小中学校では総合学習の時間を利用し、地域の環境調査などの環境学習を、実施しました。

今後も環境に対する意識の高揚につなげるため、環境イベントや環境学習会を引続き実施していきます。

(63) イベントなどによる環境啓発の充実

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
205 市民と連携したエコイベントの開催	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議による自主事業	自主イベントによる環境啓発	ごみ処理施設見学会(エコツアー) ごみの減量に関する意見交換会	エコツアー ごみに関する意見交換会	実績なし
	少年交流事業	揖斐川町春日地区でのキャンプにおいて1泊2日最終日にキャンプ地の清掃を行う	平成18年 7月9日	実績なし	実績なし
	婦人会エコライフフェア	エコ料理作りと試食会、リサイクル体験コーナー(団体主催事業)	平成18年 11月18日	平成17年 11月26日	平成17年 1月15日
	リサイクルフェア	再利用家具類や廃棄物を活用した工作、ごみの減量・リサイクル活動の取組み等の展示	平成18年 10月8日 協力7団体 参加者 2,500人	平成17年 10月9日 協力6団体 参加者 2,500人	平成16年 10月10日 協力12団体 参加者 2,500人
	わいわいカーニバルにおけるゴミタイムの実施	わいわいカーニバルで場内アナウンスを流し、参加者全員でごみの収集・分別を行うゴミタイムを実施	平成18年 5月14日	平成17年 5月15日	平成16年 5月9日

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
206 テーマ別講演会などの開催	エコセミナー	環境情報の提供と市民の環境意識の高揚を図ることにより、環境まちづくりを推進するため実施(年2回)	夏休み子どもエコセミナー「オリジナルマイバックづくり」 参加者 親子13組 34人 エコセミナー「LOHASな生活～フードマイレージから考えよう～」 参加者 30人	こどもエコセミナー「ソーラークッカーで太陽熱を利用し調理」 参加者 親子19組 39人 エコセミナー「省エネルギーに配慮したプリン作り」 参加者 22人	夏休み子どもエコセミナー 参加者 親子24組 48人 エコドライブ実践セミナー エコセミナー「エコライフへの知恵袋」 参加者 30人 「家庭に活かそう企業のノウハウ」 参加者 50人
	市民環境フォーラム	「具体的取組み218」と同様			
207 春日井まつりなどにおける環境ブースの開設	エコワールド	「具体的取組み19」と同様			
	環境ブースでの啓発	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議が環境ブースを開設し、啓発を行った	わいわいカーニバル(内容)「自然に生息する生き物」展覧など くらしに活かす生活展(内容)グループ活動報告、クイズラリーなど 春日井まつり(内容)グループ活動展示、「ごみの分別体験」など リサイクルフェア(内容)「不用紙を使った発電可能な風車」など リサイクルをテーマにした展示	わいわいカーニバル(内容)「自然に生息する生き物」展覧など くらしに活かす生活展(内容)グループ活動報告、クイズラリーなど 春日井まつり(内容)グループ活動展示、「ヒョウタン人形づくり」など リサイクルフェア(内容)「間伐材をつかった積み木」など リサイクルをテーマにした展示	わいわいカーニバル(内容)「自然に生息する生き物」展覧など くらしに活かす生活展(内容)グループ活動報告、入会案内など 春日井まつり(内容)「昔ながらの遊び」、「どんぐり植樹活動」など
208 環境市民ソングの制作など啓発の充実(実績なし)					

(64) 多様な場における環境学習の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
209 生涯学習における 環境学習の充実	坂下公民館講座	リサイクル等を学びながら使用済の廃材(発泡スチロール等)を利用しての製作や一般市民・高齢者を対象に、市民講師・大学教授等の情報を提供し、地域における自然環境に関する学習を支援	「夏休み工作教室」受講者 12人、「海辺のガラスでランプ作り」受講者 11人	「夏休み工作教室」受講者 9人、高齢者学級「豊かな暮らしとエネルギー」受講者 44人 中部大学連携講座「身近にある水災・水環境問題」受講者 49人	「夏休み工作教室」受講者 15人、「古布でタペストリー作り」受講者 22人、高齢者学級「地域と環境」受講者 42人
	自然学習	「具体的取組み92」と同様			
	自然環境学習会	「具体的取組み92」と同様			
	熟年大学	高齢者に学習の機会を提供することにより、有意義な余暇利用と生きがいのある充実した生活を営むことが出来ることを目的に開催	生活、歴史、文学の3コースを実施。全コースとも15回(合同講座を含む)の他に現地学習(自由参加)有。受講者 373人。	生活、歴史、文学の3コースを実施。全コースとも15回(合同講座を含む)の他に現地学習(自由参加)有。受講者 385人。	生活、文学、歴史コースの3コースを実施(16年度よりコース名変更)全コースとも15回の講義(開講、閉講式は合同講座)受講者 370人(現地学習は台風により中止)
210 事業所における環境学習の促進	環境講演会	事業所における環境学習の支援等	実績なし	主催:かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議 講師:環境カウンセラー 児玉剛則氏 講演:「みんなで考えませんか、ストップ地球温暖化」	主催:かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議 講師:都市調査室代表 高田弘子氏 講演:「環境はひつつき虫」
211 家庭における環境学習の促進	エコセミナー	「具体的取組み206」と同様			
	環境家計簿	「具体的取組み185」と同様			

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
211 家庭における環境学習の促進	ふれあい教育セミナー	幼稚園や小中学校の保護者等が構成するグループで、家庭教育の大切さや役割について再認識するとともに子どもの生活の場の安全を確保するため、学校、幼稚園と地域が連携出来るようセミナーを開催	希望した幼稚園8園と全小中学校53校の61セミナーを開催(補助事業)	希望した幼稚園9園と全小中学校53校の62セミナーを開催(補助事業)	希望した幼稚園9園と全小中学校53校の62セミナーを開催(委託事業)

(65) 学校などにおける環境教育・環境学習の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
212 幼児期に対応した環境教育の充実	紙芝居の作成	保育園児向けにごみの減量やリサイクルに関する紙芝居を作成し、保育園に配付	幼稚園・保育園児向けに3種類の紙芝居を作成し、市内幼稚園・保育園に配付した。		
	環境教育・環境学習(保育園)	遊び、紙芝居、絵本等を通じて子どもたちの環境に対する自覚を高める。(全園で実施) 環境教育に関する掲示物の工夫、環境メッセージを保護者へ絵を描き啓蒙、リサイクルの推進(ペットボトルの再利用、牛乳パックでの作品作り)など	・ゴミの分別、減量の実施(全園で実施)・環境人形劇の上演・廃品の利用、遊具を使い遊ぶ ・園だよりに環境問題を載せる ・年長児のゴミ集め当番実施 ・落ち葉の堆肥化 ・残食量の記録、水道使用量のグラフ化 ・手作り環境カルタ、紙芝居等による意識づけ ・環境紙芝居作成(3園) ・環境の日の設定(18園)	・ゴミの分別、減量の実施(全園で実施) ・環境人形劇の上演 ・廃品の利用、遊具を使い遊ぶ ・園だよりに環境問題を載せる ・年長児のゴミ集め当番実施 ・落ち葉の堆肥化 ・残食の量の記録、水道使用量のグラフ化 ・手作り環境カルタ等による意識づけ ・環境の日(月1回の設定:4園)	・ゴミの分別、減量の実施(全園で実施) ・環境人形劇の上演 ・廃品の利用、遊具を使い遊ぶ ・園だよりに環境問題を載せる ・年長児のゴミ集め当番実施 ・落ち葉の堆肥化 ・残食の量の記録、水道使用量のグラフ化 環境の日(月1回の設定:4園)

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
213 初等・中等教育に 対応した環境教育 の充実	環境教育・環境学 習(中学校)	市内の大気及び水 質等のデータを基に 環境問題を説明し、 環境問題への意識の 高揚を目的とする	実績なし	実績なし	高森台中学校 参加者22人
	社会科副読本「く らしとごみ」青空 教室	小学校4年生を対象 とした社会科教材の 作成と青空教室の実 施	「くらしとごみ」 3,500部作成 し、全小学校 38校に配付 「青空教室」 小学校37校 (2,897人)	「くらしとごみ」 3,500部作成 し、全小学校 38校に配付 「青空教室」 小学校38校 (3,001人)	「くらしとごみ」 3,500部作成 し、全小学校 38校に配付 「青空教室」 小学校33校 (2,591人)
	総合学習(環境)	総合学習の時間を活 用した環境学習の実 施 ゴミ問題、リサイクル、 地域清掃(公園・ 川)、水の学習、森の 学習、地域の環境調 査(川の水質や水生 生物の調査、植生調 査など)、ビオトープ での飼育栽培活動、 地球環境問題	実施小学校数 36校 第3学年7校、 第4学年31校、 第5学年16校、 第6学年8校 実施中学校数 7校 第1学年5校、 第2学年4校、 第3学年6校	実施小学校数 37校 第3学年15校、 第4学年32校、 第5学年18校、 第6学年12校 実施中学校数 11校 第1学年4校、 第2学年6校、 第3学年4校	実施小学校数 33校 第3学年4校、 第4学年27校、 第5学年11校、 第6学年6校 実施中学校数 10校 第1学年5校、 第2学年6校、 第3学年3校
214 こどもエコクラブ活 動の促進	こどもエコクラブ	こどもエコクラブの活 動を支援し、将来の 環境まちづくりを担う 子どもたちの環境に 関する興味と関心を 高め自主的な活動を 促進 登録者に対しては、 会員手帳・登録バッ ジ等を配布	9団体計123人 (うち子ども99 人)が登録	4団体計52人 (うち子ども40 人)が登録	5団体計32人 (うち子ども25 人)が登録

23 自発的市民活動とネットワーク

市民の環境活動への取組みの推進と各団体や個人などの相互の交流や、環境情報の提供を目的に市民環境フォーラムを開催し、「かすがい環境賞」として積極的な環境保全活動の取組みを行っている市民3団体を表彰しました。

また、地域の環境保全活動を支援するため、生活排水対策による学習会や水生生物調査を実施しました。

今後も、市民、事業者、市の協働による環境まちづくりを推進していくため、「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議」の活動を支援するとともに、中部大学との協定など協働の輪を広げていきます。

(66) 環境活動団体の育成・支援

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
215 「市民活動支援センター(仮称)」の整備	市民活動支援センター(仮称)の支援		「具体的取組み163」と同様		
216 環境活動・消費者団体への支援策の充実	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議		「具体的取組み222」と同様		
	フリーマーケット		「具体的取組み109」と同様		
217 環境活動・消費者団体の紹介媒体の充実	くらしに活かす生活展		「具体的取組み110」と同様		
218 市民環境フォーラムの開催	こども環境シンポジウム	こどもたちが日頃の環境活動について発表	平成19年 1月20日 市内5小学校(味美、西尾、大手、東高森台、上条小学校)が身近な環境調査の成果を発表	平成18年 1月29日 市内4小学校(味美、上条、神領、西尾小学校)・たかくらこどもエコクラブが身近な環境調査の成果を発表	市内4小学校(大手、神領、高座、東高森台小学校)が身近な自然調査の成果を発表

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
218 市民環境フォーラムの開催	市民環境フォーラム	市民の環境活動への取組みの推進と相互の交流や環境情報の提供	「かすがい環境賞」表彰及び活動発表 講演：演題「お天気でわかる、身近な地球温暖化」 ふれあいトーク 場所：レディヤンかすがい多目的ホール 参加者300人	プログラム 「かすがい環境賞」表彰及び活動事例の発表 講演：演題「私にもできる環境にやさしくらし」 ふれあいトーク 場所：レディヤンかすがい多目的ホール 参加者：250人	プログラム 環境保全活動功労者表彰状交付 講演とコンサート 演題「モンゴルの遊牧民に学ぶ、自然と共に生きる」 活動発表とフリートーク テーマ「春日井市の自然について」 場所：レディヤンかすがい多目的ホール 参加者：230人
219 かすがい環境賞による顕彰	かすがい環境賞	環境の保全に関し、学校や地域において積極的な環境保全活動の取組みを行っている市民又は市民団体を表彰	表彰 3団体 春日井市立高座小学校、中央台コミュニティクラブ、尾張野鳥の会	表彰 3団体 春日井市子ども会育成連絡協議会、牛山地区コミュニティ推進協議会、春日井市立東高森台小学校	表彰 5団体 春日井市婦人会協議会、春日井市消費者グループなずなの会、春日井自然友の会、石尾台地区コミュニティ推進協議会、廻間子ども会

(67) 地域における環境活動の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
220 地域活動への支援	水生生物の調査	河川愛護や水質浄化などへの意識向上を図るため、河川に生息する生物を採取し、水質の状態を判定する水生生物調査を実施	大谷川にて実施(参加者：廻間子ども会)	大谷川にて実施(参加者：廻間子ども会)	大谷川にて実施(参加者：廻間子ども会)
	河川浄化についての学習会	ビデオや講話、水質試験を通して生活排水対策を学習	落合公園管理棟(参加者：東野地区町内会・こども会)	落合公園管理棟(参加者：東野地区町内会・こども会)	松原小学校(参加者：東野地区町内会・こども会)

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
221 環境監視・指導体制への地域住民の参加	河川浄化モデル地区		「具体的取組み174」と同様		

(68) 市民、事業者、専門家、市などの交流・協働の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
222 市民・事業者との協働組織への支援	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議	市民、事業者、行政が協働し、環境まちづくりを推進する組織として平成14年12月設立	会員（市民97、市民団体9、事業者9）プロジェクト数：10（新規プロジェクトとして2プロジェクト設立）	会員（市民82、市民団体6、事業者9）プロジェクト数：8（新規プロジェクトとして3プロジェクト設立）	会員（市民74、市民団体6、事業者8）プロジェクト数：5
223 市民・事業者との協働事業の推進	エコワールド	「具体的取組み19」と同様			
	スローライフ運動	スローライフをテーマに市民主体のイベントを実施	ウォーク、キャンドルナイト、竹炭作りなどのイベントを実施 年間参加者約830人		
224 人材交流・共同事業の実施など地元大学との連携	熟年大学	「具体的取組み209」と同様			
	大学連携講座	近隣の大学と連携を図って教授等の派遣を受け、4公民館で「大学連携講座」を開催。連携大学：中部大学、名城大学、南山大学、名古屋学院大学	「春日井から環境と風水を考える」を始め2講座実施 受講者数延べ161人	中部大学教授が「身近にある水災・水環境問題」のテーマで、坂下公民館で3日間実施 受講者 49人	中部大学教授が「春日井の景観を考える」と題し、文化フォーラム春日井で2日間実施 参加者 21人
	中部大学との協定	相互協力事項「環境分析、データ収集において連携を強化し、環境浄化関連施設に関する事項について技術協力、共同研究」	平成18年5月29日協定締結		
225 経済団体との連携(実績なし)					
226 産官学民の交流の場(サロンの創設)	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議(運営会議)	環境に関する議論の場、意見交換の場として、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議運営会議を設置	運営会議 13回開催	運営会議 14回開催	運営会議 14回開催

(69) 広域的連携・交流の推進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
227 流域での地域間連携と共同環境対策の推進	尾張東部公害対策連絡協議会	尾張東部地域に属する市・町の連絡体制を確立し、公害に係る事項等の連絡会議を実施。また、多様化する環境行政に対応するため、技術や法令の実務研究会、県内外の市町の環境行政や先進的な環境保全に取り組む企業の視察、環境月間における河川の同時採水調査、西尾張地域公害防止連絡協議会との合同会議を実施。	尾張東部公害対策連絡協議会総会 事務連絡会議 河川水質調査 視察研修 事務連絡会議・実務研究会 幹事会 実務研究会（合同会議）	尾張東部公害対策連絡協議会総会 事務連絡会議 河川水質調査 視察研修 事務連絡会議・実務研究会 幹事会（2回） 実務研究会（合同会議）	尾張東部公害対策連絡協議会総会 事務連絡会議 河川水質調査 事務連絡会議・実務研究会（2回） 視察研修（2回） 幹事会（2回） 実務研究会（合同会議）
	庄内川中流域水環境改善対策協議会	庄内川中流域及び八田川の水質改善を図るため、当協議会において庄内川中流域水環境改善対策基本計画書を策定し、2015年度を暫定目標年次として庄内川水分橋下流地点の環境基準C類型相当の水質を目指す等暫定目標達成のための対策に努める。	平成18年 12月19日 幹事会 1回 平成19年 2月21日 委員会 1回	平成18年 3月10日 委員会 1回	平成16年 7月27日 3月16日 委員会 2回
	水・地盤環境行政に係る愛知県・政令市連絡会議	水・地盤環境行政に係る愛知県・政令市連絡会議開催要領に基づき、愛知県及び水質汚濁防止法第28条に定める政令市（名古屋市、豊田市、豊橋市、岡崎市、一宮市、春日井市）にて、水・地盤環境行政事業の推進に係る事項等の連絡会議を実施。河川水質異常発生時等、庄内川水系水質保全連絡協議会構成機関及び近隣市等と連携を図り、流出防止対策、発生源調査、現状回復の復旧対策を推進。	愛知県・政令市連絡会議 河川水質異常等に係る調査件数 34件	愛知県・政令市連絡会議 河川水質異常等に係る調査件数 21件	愛知県・政令市連絡会議 河川水質異常等に係る調査件数 20件

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
227 流域での地域間連携と共同環境対策の推進	庄内川水系水質保全連絡協議会	庄内川、八田川の水質改善を図るため、協議会構成機関において庄内川等の水質測定などを実施 庄内川水質異常発生時において、協議会構成機関と連携を図り、汚濁物質流出防止対策、発生源調査、現状回復の復旧対策の推進	庄内川水系水質保全連絡協議会委員会・幹事会 平成19年 3月13日 平成18年度水質事故通報連絡 5件	庄内川水系水質保全連絡協議会委員会・幹事会 平成17年 6月28日 平成17年度水質事故通報連絡 16件	庄内川水系水質保全連絡協議会委員会・幹事会 平成16年 7月6日 庄内川水系水質保全連絡協議会現地視察 平成16年12月2日 平成16年度水質事故通報連絡 8件
228 環境先進都市・団体などとの交流とネットワークへの参加(実績なし)					
229 姉妹都市・環境先進都市などとの国際的交流の充実(実績なし)					

学習・ネットワーク基盤

24 環境まちづくりのための基盤

生涯学習活動の推進とコミュニティの育成を目的に、小学校の空き教室を学校教育に支障のない範囲で開放しました。

他にも、クリーンセンターでは、ごみ処理施設の見学及び市内のごみの現状などを通して、ごみ減量の啓発を実施しました。また、環境分析センターでは、市民の身近な河川の環境を知ってもらう機会として、施設見学と身近な河川の水質調査や酸性雨の pH 測定などを実施しました。

今後も、施設見学会など多くの機会環境啓発を実施していきます。

(70) 人材の育成

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
230 環境活動リーダーの育成	環境リーダーの育成	自然環境保全活動推進員など環境活動リーダーの育成を目的としたセミナーの実施	自然環境保全活動推進員ステップアップ講座 全2回 平成18年 9月30日 10月14日 平成19年 3月9日	実績なし	リーダー養成講座全4回 参加者16名 主催：かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議
231 エコスタッフの育成・派遣システムの構築(実績なし)					
232 市職員による出前講座の推進	交通安全教室	小学生、幼稚園児、保育園児、高齢者、地域住民を対象に実施している。	延べ109回開催 参加者 16,539人	延べ119回開催 参加者 19,869人	延べ114回開催 参加者 21,037人
	出前講座	春日井市の行政情報や施策について、町内会・PTA・老人クラブ等の市内に在住・在勤・在学の10人以上で構成される団体の研修会等に、依頼を受けて市職員が出向いて講義	小学校、幼稚園、保育園、地域集会所等で実施件数30件、受講者1,478人	小学校、幼稚園、保育園、地域集会所等で実施件数41件、受講者1,802人	小学校、幼稚園、保育園、地域集会所等で実施件数48件、受講者2,322人
	出前講座(おもしろ実験講座)	市職員による出前おもしろ実験講座	実績なし	東部市民センター 参加者 17人 「色の化学」 「液体窒素を使って」 「万華鏡作り」	西部ふれあいセンター 参加者 15人 「ドライアイスを使った実験」 「雨水の酸・アルカリ測定などの環境測定と静電気の実験」

(71) 環境学習・環境活動プログラムの充実

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
233 環境学習・環境活動プログラムの開発・蓄積・活用	少年自然の家活動資料作成	東部丘陵の自然の様々な側面から環境を考えるプログラムを、市内小学校の野外学習のプログラムとして提供	市内小学5年生の野外学習合同説明会を開催し、引率教員に対して自然体験活動を実践し、提供した野外学習プログラムのより多くの実行を図った。	市内小学5年生の野外学習合同説明会を開催し、引率教員に対して自然体験活動を実践し、提供した野外学習プログラムのより多くの実行を図った。	野外学習において、一部の学校に自然に触れるプログラムが取り入れられた
234 フィールドワーク・ワークショップなど体験型学習の普及	こどもエコクラブ	「具体的取組み214」と同様			
	自然学習	「具体的取組み92」と同様			
	自然環境学習会	「具体的取組み92」と同様			

(72) 環境関連施設の整備・充実

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
235 環境活動団体などの活動拠点の整備	調査地の提供	環境活動団体、調査研究グループなどの活動、調査に対し、積極的に管理地域内で調査地を提供	尾張自然観察会、尾張野鳥の会などが定例の自然観察会を継続的に実施	尾張自然観察会、尾張野鳥の会などが定例の自然観察会を継続的に実施	尾張自然観察会、尾張野鳥の会などが定例の自然観察会を継続的に実施 中部大学応用生物学部の野ネズミの個体群調査の実施
236 余裕教室・グラウンドなどの地域開放の推進	学校施設開放	小学校の空き教室を学校教育に支障ない範囲で、登録した地域住民の団体に開放することにより、生涯学習活動の推進とコミュニティの育成を図る	白山小学校 1団体、牛山小学校 1団体、石尾台小学校 6団体	白山小学校 1団体、牛山小学校 1団体、石尾台小学校 7団体	白山小学校2団体、牛山小学校2団体、石尾台小学校7団体
237 学校併設型公園・文化センターなど整備の検討(実績なし)					

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
238 ごみ・自然など多様な分野の環境学習・環境活動拠点の整備・充実	施設見学(クリーンセンター)	施設内の見学及び、市内のごみ処理の現状の説明	一般(町内会等)12団体、小中学校38校、公共団体9団体	一般(町内会等)11団体、小中学校48校、公共団体21団体	一般(町内会等)16団体、小中学校44校、公共団体26団体
	分析実習および施設見学(環境分析センター)	市内中学生等の総合学習、職場体験学習、施設見学を受け入れている。内容は、身近な河川の水質調査、顕微鏡観察、酸性雨のpH測定、施設見学	高森台中学校始め3校他140人	西部中学始め3校他162人 一般3人	高森台中学校はじめ3校計169人

25 環境情報の共有

市内の環境調査結果を取りまとめた「環境調査報告書」及び、環境基本計画の進捗状況を取りまとめた「環境報告書」について、市情報コーナー、各ふれあいセンター、各公民館などに設置し、環境情報の提供に努めています。

また、市広報では有益な情報を抜粋した記事をテープに編集し、視聴覚障がい者の希望者に配布するなど、きめ細かな対応に努めています。

今後、環境情報について報告書などを通じ、情報提供に努めていくとともに、市ホームページ等で概要を掲載するなど、分かりやすく情報提供できるよう実施していきます。

(73) 環境情報の公開

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
239 環境情報のデータ ベース化とデータ の提供	環境調査報告書	「具体的取組み204」と同様			
240 市民ニーズに対応した環境情報検索システムの構築(実績なし)					

(74) 誰にも分かりやすい情報提供

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
241 図表・地図利用な ど分かりやすい情 報提供の推進	環境調査報告書	「具体的取組み204」と同様			
242 インターネットなど 多様な媒体による 情報提供の推進	市政情報サービ ス事業	月2回の広報発行に 合わせてホームページを更新(広報春日 井PDF版、トピック ス、イベント情報など)	年間24回 更新 アクセス数 10,379,668	年間24回 更新 アクセス数 8,912,188	年間24回 更新 アクセス数 7,550,272
243 環境情報源の情報 提供の推進	環境情報の提供	市内の環境調査結果 を取りまとめた「環境 調査報告書」及び、 環境基本計画の進捗 状況を取りまとめた 「環境報告書」につ いて、市情報コーナ ーはじめ市施設に閲 覧用として設置	市情報コーナ ーなど13箇所に設置 「環境報告 書」を市ホー ムページに掲 載 環境基準適 合状況を市ホ ームページに 掲載	市情報コーナ ーなど13箇所に設置 「環境報告 書」を市ホー ムページに掲 載 環境基準適 合状況を市ホ ームページに 掲載	市情報コーナ ーなど13箇所に設置 「環境報告 書」を市ホー ムページに掲 載 環境基準適 合状況を市ホ ームページに 掲載

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
244 情報弱者に配慮した情報提供の推進	声の広報事業	ボランティアが広報春日井の中から視覚障がい者に有益な情報を抜粋し、1時間テープに編集。これを広報春日井の発行に合わせて毎月2回、視覚障がい者の希望者に送付	利用者75人に年間24回送付	利用者73人に年間24回送付 平成18年2月1日から声の広報音声データを市ホームページに掲載	利用者72人に年間24回送付

(75) 環境情報交流の促進

具体的取組み	事業名	事業内容	平成18年度	平成17年度	平成16年度
245 環境ガイド・環境マップなどの作成(実績なし)					
246 電子会議室・メーリングリストなどによる情報交流の推進(実績なし)					
247 デジタルエコミュージアムの構築・活用(実績なし)					
248 「環境情報センター(仮称)」の創設(実績なし)					